(公社)鹿児島県診療放射線技師会

会報

平成26年2月

第119号

公益社団法人 **鹿児島県診療放射線技師会**

鹿児島市東坂元四丁目28－11
TEL 099-248-0028
FAX099-248-0028

目　　次

巻　頭　言　「年頭のごあいさつ」
公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会　会長　池田　睦 ………… 1

叙勲受賞おめでとうございます。　栫　岩雄先生 ………… 2

ご　案　内　「平成25年度鹿児島県診療放射線技師女性の集い」のご案内 ………… 3
第28回　南薩地域研修会開催について ………… 4
第35回大隅地域研修会(予告案内) ………… 6
鹿児島乳腺画像研究会のご案内 ………… 7
レントゲンイベ週間ント　市民公開講座 ………… 8

お知らせ　鹿児島Ｘ線撮影研究会発足のお知らせ-ウェブサイト開設のお知らせ- ………… 10
第30回日本診療放射線技師学術大会（大分県別府市）のお知らせ ………… 11
「リレー・フォー・ライフ・ジャパンかごしま」への参加について ………… 12

報　　告　第34回　大隅地域研修会報告 ………… 15
平成25年度北薩地域研修会　終了報告 ………… 17
平成25年度 公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会
秋季学術大会(in 霧島・始良地域)終了報告 ………… 22
第１回鹿児島超音波研究会報告 ………… 35
第２回鹿児島超音波研究会報告 ………… 36
平成25年度　鹿児島消化器画像研究会活動報告 ………… 37
第１回鹿児島乳腺画像研究会の報告 ………… 38

議　事　録　平成25年度　第３回理事会議事録 ………… 39
平成25年度　第３回常務理事会議事録 ………… 53

平成２５年度会費納入について ………… 59

編集後記 ………… 60

理事・監事名簿 ………… 61

広告掲載一覧 ………… 62

広　告

巻頭言

年頭のごあいさつ

公益社団法人　鹿児島県診療放射線技師会
会長　池　田　　睦

新年の幕開けに際してご挨拶申し上げます。

平成 25 年 4 月に鹿児島県放射線技師会が公益社団法人として発足し、公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会となり、また新たに平成26年を迎える事が出来ました。

平成 25 年は大きな学会等も無く比較的穏やかな年ではありました。事業計画に沿った事業を着々と運営して行くことで会員の皆様方にも貢献できたと思います。

昨年は年度当初から急遽、参議院選挙において診療放射線技師会の候補者擁立という事態が生じ、告示から選挙当日まで 2 カ月余りという期間の少ない中で会員の皆様方にも多大なご協力をお願い致しました。選挙は残念な結果となりましたが、我々の仲間を国政に挙げることは診療放射線技師の業務拡大、待遇改善、診療放射線技師法の改正等にとって必須です。3 年後に再度チャレンジされると言う事ですので是非、診療放射線技師会としても技師連盟と歩調を合わせ応援して行かなければなりません。

平成 26 年は公益法人 2 年目として成果をあげ充実の年にしなければなりません。診療放射線技師会より先に公益化した多くの医療団体においては、公益法人成立後 2 年目に鹿児島県より監査が行われ、公益社団法人として相応しい事業、財務管理等がなされているかの審査が行われております。公益社団法人としての資質が問われかねないような事業をさらに展開していく必要があります。

平成 25 年度に理事会で新たに承認された研究会として、鹿児島乳腺画像研究会、鹿児島超音波研究会、さらに鹿児島Ｘ線撮影研究会が立ちあがりました。平成 26 年度は先に鹿児島県診療放射線技師会が後援をしている消化器画像研究会、放射線治療技術研究会、ＣＴ研究会、ＭＲＩ研究会の 4 研究会と併せて 7 研究会として活動を行います。また 3 管理士部会も積極的に活動を行ってくれるでしょう。6 地域の研修会、学術研究発表会、特別講演会並びにその他の公益事業もさらに積極的に行う所存です。また、執行部においては平成 21 年の発足から 3 期目にあたる年になります。平成 26 年度末には役員選挙も予定されます。会員の皆様の力を是非執行部で発揮して貰い、より良い鹿児島県診療放射線技師会を築いて欲しいと思います。

これからも執行部一同、微力ではありますが会務運営に努力してまいります。鹿児島県診療放射線技師会活動にご協力の程、よろしくお願いいたします。

叙勲受章おめでとうございます

椨　岩雄　先生

平成２５年秋の叙勲が発令され、当会会員の椨　岩雄　先生（65歳・博悠会温泉病院診療放射線技師）が受章されておられます。

会員一同心よりお祝い申し上げます。

☆祝賀会のご案内☆

瑞宝双光章受章　椨　岩雄　先生

上記のとおり、椨　岩雄　先生が瑞宝双光章を受章される事となりました。先生はもとより、私たち鹿児島県診療放射線技師会会員一同にとりましても、誠に喜ばしいことであります。

つきましては、受章をお祝い申し上げたく、下記のとおり祝賀会を開催いたします。ご多用の折とは存じますが、万障お繰り合わせの上、多数ご参集いただきますようご案内申し上げます。

記

日　時：平成 26 年 3 月 8 日（土）17:30～
会　場：パレスイン鹿児島
　　　　鹿児島県鹿児島市樋之口町 8-2
　　　　TEL 099-223-1111
会　費：6,000 円

＊準備の都合上、同封の官製はがきにて
平成 26 年 2 月 21 日（必着）までに
ご返事下さいますようお願いいたします。

女性診療放射線技師・関係各位　様

平成26年1月吉日
公益社団法人　鹿児島県診療放射線技師会
会長　池田　睦
鹿放技女性の集い運営委員会
新村　栄次

『平成25年度 鹿児島県診療放射線技師 女性の集い』のご案内

昨年の第1回となった平成24年度女性の集いでは、多くの女性診療放射線技師の皆さまに参加いただき、無事盛会のうちに終了いたしました。参加者ならびに関係者の皆様にお礼申し上げます。

今年度も第2回女性の集いを下記日程で開催いたします。第1回に引き続き、女性診療放射線技師活躍促進の寄与のひとつになることを目指し、互いに知り合い・交流することを主旨に、研修の要素も組み入れ、知識を深めつつ楽しく交流を深めていただこうと考えております。

県下全ての女性診療放射線技師が対象です。女性技師のみなさま、お誘い合わせのうえ、こぞって参加いただくようお願い申し上げます。

※公益法人化に伴い今年度より、参加費を会員無料、非会員500円となりました。ご確認ください。

Kagoshima RT Women's Fellowship　鹿児島県診療放射線技師女性の集い

平成25年度

鹿児島県診療放射線技師 女性の集い

日　　時：平成26年3月15日（土）　15：00～18：00
会　　場：鹿児島医療センター2F大会議室
〒892-0853 鹿児島市城山町8−1　TEL: 099-223-1151
駐 車 場：駐車場ご利用の方は、駐車券を会場に、ご持参ください。
主　　催：（公益社団法人）鹿児島県診療放射線技師会
参加対象：鹿児島県の全女性診療放射線技師
参 加 費：技師会会員：無料、非会員：500円
主な内容：〔報告〕平成２５年度女性サミット報告・アンケート報告
〔講演〕乳がんを経験された方のインナーウェア　ワコールリマンマ
〔発表〕技師の立場からの症例提示（乳房外観像と画像、検出困難例等）
〔講演〕乳がんについて（乳がんと遺伝子ほか）　相良病院　馬場信一先生

終 了 後：情報交換会「キッチン山元」（希望者:3,000円予定）
※好評につき、今回も情報交換会を実施します。情報交換会参加ご希望の方は、２日前（3月13日）までに、下記FAXまたはメールにてお知らせください。

問い合せ：徳久整形外科　松野下直美（鹿放技女性の会運営委委員会）
TEL: 0993-53-4311　FAX: 0993-53-4312
e-mail: tokuhisa@guitar.ocn.ne.jp

平成２５年１２月２４日

会員各位

公益社団法人　鹿児島県　診療放射線技師会
会長　池田　睦
公益社団法人　鹿児島県診療放射線技師会 南薩地域
理事　野中康博

第２８回 南薩地域研修会開催について

拝啓
皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
鹿児島県診療放射線技師会では南薩地域研修会の開催について、下記日程の開催で準備しております。多数のご出席とご協力の程、宜しくお願いします。

記

開催日：平成２６年 3月 1日（土）
時　間：１５時～１８時
会　場：県立薩南病院（電話0993－53－5300）
内　容：以下のとおり予定しています。

① 会員からの演題
② 南薩継続企画「施設紹介」
③ メーカー講演
④ 交流交歓会

※詳細が決まり次第、二回目の案内を出欠表付きで平成２６年２月上旬に送る予定です。万事繰り合わせの上、出席方よろしくお願いします。
※非会員の出席については参加費として５００円を徴収いたします。ご了承ください。

【 問い合わせ 】

地域理事　野中康博（菊野病院）０９９３－５６－１１３５
世話人　長野勝悟（馬場病院）０９９－２９８－２６１１
世話人　白澤清英（小原病院）０９９３－７２－２２２６
世話人　中山龍一（薩南病院）０９９３－５３－５３００
世話人　前迫秀利（サザンリージョン病院）０９９３－７２－１３５１

演題募集のお知らせ

会員からの演題を募集しています。この機会に発表してみませんか？　発表をされる方は南薩世話人までご一報ください。

また、南薩地区継続企画であります「施設紹介」も２施設にお願いしております。今後もこの研修会の場で自施設のＰＲをお願いします。

平成25年12月吉日

会員各位

公益社団法人　鹿児島県診療放射線技師会
会長　池田　睦
大隅地域理事　島児　末治

第35回大隅地域研修会（ 予告案内 ）

下記の日程で支部研修会を開催することとなりました。
会員・非会員問いませんので多数参加して頂きますようご案内申し上げます。

日時　平成26年3月29日(土)
時間　14時30分 ～ 18時
会場　恒心会おぐら病院

【 **大隅地域活動報告** 】　大隅地域理事

【 **県技師会活動報告** 】　鹿児島県診療放射線技師会　担当理事

【 **会員報告** 】

① 地域研修会アンケート結果報告
② 当院のCT・MRI画像遠隔読影システム運用について
③ おぐら病院新館紹介

【 **トピックス及び教育講演** 】 検討中

【 **テーマ討論** 】

～　整形領域の画像について（ 一般撮影・CT・MRIを含め ）　～

基調講演 ： 検討中
症例報告(各10分程度)
①おぐら病院　②大隅鹿屋病院　③垂水中央病院　④今給黎総合病院
◎デスカッション(撮影法やCT・MRI検査の有用性等について意見交換します)

※ 恒心会おぐら病院画像検査科の施設見学を予定しております

【 **参加費** 】 技師会非会員の方は、会場整理費として500円徴収致します

【 **連絡先** 】 垂水中央病院　放射線室　市園　園田　TEL0994-32-5211

鹿児島乳腺画像研究会のご案内

謹啓

余寒の候、皆様におかれましては益々御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、今年度、鹿児島乳腺画像研究会を発足いたしましたので、ご案内致します。本会は鹿児島県内の乳腺疾患に携わる会員はもちろん、医師、臨床検査技師、薬剤師といった医療従事者を対象に、乳房画像に関する講演、研究発表、知識の交換、情報の提供などを行うことにより、鹿児島県内における相互のレベル向上をはかることを目的としています。

乳腺疾患の画像診断には、マンモグラフィだけでなく、超音波、細胞診、組織診も重要なファクターであります。

また、最近は、PET画像、乳腺MRIや乳腺CTなど、温存手術を実施するうえで、必要不可欠な検査になっています。

また、全身補助療法といって、がんの遠隔転移を予防・治療する方法で「化学療法（抗がん剤）」と「ホルモン療法」と「ハーセプチン治療」があります。がんを根治する「根治治療」に対して、あくまで補助的な治療という意味で「補助療法」と呼ばれますが、実際にはこの補助療法によって生存率が改善されています。そこで、医師、薬剤師の方々にも応援を頼み、乳腺画像に必要な知識であるので、今後取り入れていきたいと思います。

活動としましては、年2回を基本に、1回は座学中心、2回目は実習中心で実施したいと考えています。実習では、マンモグラフィのポジショニングやデジタルマンモグラフィの品質管理方法など、日頃臨床で必要な知識を中心に実践できればと思っています。

どうぞ、皆様の参加をお待ちしています。

謹白

下記の方々にご協力いただいています。

代表世話人

隈　浩司	（鹿児島市立病院：鹿児島市）

世 話 人（順不同）

篠原　なつき	（今給黎総合病院：鹿児島市）
本村　江利子	（鹿児島大学病院：鹿児島市）
平原　茜	（鹿児島市立病院：鹿児島市）
岡本　瑠美	（相良病院附属ブレストケアセンター：　鹿児島市）
福元　裕梨	（さがらパース通りクリニック：鹿児島市）
田口　利樹	（相良病院：鹿児島市）
松野下直美	（徳久整形外科：枕崎市）
井手　正博	（井ノ上病院：鹿屋市）
永野　喜之	（寺田病院：伊佐市）

また、研究会では、ご意見をお待ちしています。今後の運営方法や、研究会の案内など、下記メールアドレスまでご連絡下さい。

鹿児島市立病院　隈　浩司
E.mail:kuma_kch@yahoo.co.jp

レントゲン週間イベント　市民公開講座　入場無料100名様

～医療現場におけるコ・メディカルの役割～

皆さまの健康へ貢献するため私たちはこんな仕事をしています

＜鹿児島県診療放射線技師会生涯教育講座＞

日　時：平成26年 3月 8日(土)　13時より（開場12時)

場　所：ホテルパレスイン鹿児島　白鷺の間（2F）

鹿児島市樋之口町8-2

開会の挨拶（13:00）　公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会　会長　池田　睦

座長　公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会 会長　池田　陸

講演1（13:05-13:25）20分
「医療現場における理学療法士の役割について」
鹿児島県理学療法士協会　理学療法技士　弓場 裕之

講演2（13:30-13:50）20分
「医療現場における臨床検査技師の役割について」
鹿児島県臨床検査技師会 会長　臨床検査技師　有村 義輝

講演3（13:55-14:15）20分
「医療現場における臨床工学技士の役割について」
鹿児島県臨床工学技士会 会長　臨床工学技士　谷口 賢二郎

講演4（14:20-14:40）20分
「医療現場における診療放射線技師の役割について」
鹿児島県診療放射線技師会 副会長　診療放射線技師　新村 栄次

講演5（14:50-15:30）40分
「どうすれば診療放射線技師になれるの、その将来は」
熊本大学医学部保健学科　肥合 康弘 先生

ディスカッション（15:40-15:55）15分
「現職のコ・メディカルスタッフへの質問タイム」

その他、診療放射線技師に関わるＣＴ、ＭＲＩ等の臨床写真等のパネルの展示と説明、臨床工学技士に関わるＤＶＤの放映。相談コーナー等を併設します。

今回は、病院等で働くコ・メディカルの役割について紹介する企画を計画しました。かねてからどんなことやっている人たちだろうと疑問に思っていた市民の皆さま、将来医療系の職業に興味のある高校生（そのご両親さま）の皆さま、丁寧に説明紹介いたします、ご来場をお待ちしております。

入場は無料ですが、会場の関係で先着100名までといたします。はがき又はFAXにて事前にお申込み下さい。詳しい応募方法は裏面をご参照ください。

（来場者へはコ・メディカルの仕事の紹介や進学先の紹介等のパンフレット等を差し上げます。）

共催：公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会／エーザイ株式会社

レントゲン週間イベント　市民公開講座　入場無料100名様

～医療現場におけるコ・メディカルの役割～

皆さまの健康へ貢献するため私たちはこんな仕事をしています

会場のご案内

ホテルパレスイン鹿児島　白鷺の間（2F）
住所：鹿児島市樋之口町8-2
電話：099-223-1111
HP：*http://palacein.com/index.html*
市電：鹿児島市立病院前下車　徒歩5分
ホテルの駐車場は利用できませんので、
なるべく公共交通機関をご利用ください。
車でご来場の際は、近くの有料駐車場を
ご利用ください。

はがきでの申し込み方法

はがきに①お名前（ふりがな）②年齢　③郵便番号 ④住所　⑤電話番号をご記入の上、下記住所までご郵送ください。
〒892-0861
鹿児島市東坂元4丁目28-11 鹿児島県診療放射線技師会 市民公開講座申込係

ＦＡＸでの申し込み方法

下記にご記入の上、ＦＡＸ（０９９－２７５－５９１５）までご送付ください。

（ふりがな） *お名前*		*年齢*	*電話番号* *（　　　）*
ご連絡先	*（〒　　－　　）*		
（ふりがな） *お名前*		*年齢*	*電話番号* *（　　　）*
ご連絡先	*（〒　　－　　）*		
（ふりがな） *お名前*		*年齢*	*電話番号* *（　　　）*
ご連絡先	*（〒　　－　　）*		

その他お知らせ等

申込の締め切りは、H26年2月22日です。定員100名（先着順）になりしだい締め切りとさせていただきます。結果につきましては、後日はがきにてお知らせいたします。尚、ご記入いただきました個人情報は、本公開講座の連絡のみに使用させていただきます。

【お問合せ先】公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会事務局　鹿児島大学病院内
臨床技術部放射線部門　電話　099-275-5664

鹿児島Ｘ線撮影研究会発足のお知らせ
－ ウェブサイト開設のお知らせ －

鹿児島Ｘ線撮影研究会
馬場 隆行

このたび、平成２５年１１月中旬に、「鹿児島X線撮影研究会」を発足いたしましたので、お知らせいたします。

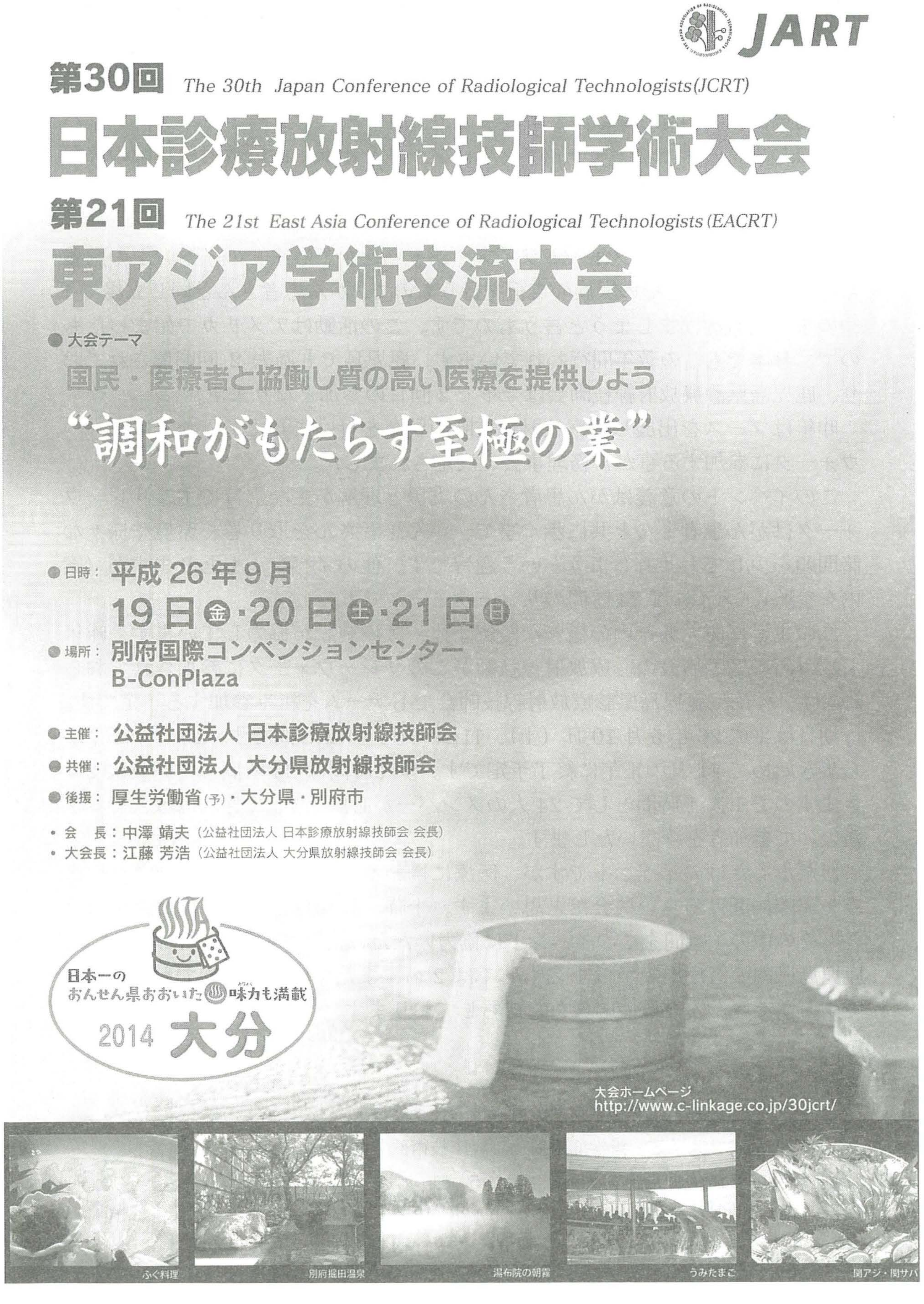
MRI、CT、エコー等の多くのモダリティには、研究会・勉強会があり研鑽されています。

一方、X線撮影においては、ほぼ全ての診療放射線技師が携わるのにもかかわらず、基本的な技術の見直しの機会すらなかなかないのが現状でした。また、他のモダリティと同様、読影の補助についても取り組む必要も感じておりました。このような状況に鑑み、発足させていただくことになりました。

既に平成２６年１月１８日に第１回研究会を開催いたしましたが、今後も基本的な撮影技術をはじめ、更なる撮影技術の進歩へ、読影補助へと、X線撮影に携わる皆さまとともに取り組んで参りたいと思います。

また当研究会では、ウェブサイトを開設いたしました、当研究会の開催情報や資料等を順次発信していきたいと思っております。どうぞ、お気軽にご訪問ください。

サイト名：　鹿児島Ｘ線撮影研究会
ＵＲＬ：　http://kagoshima-rt-xsg.blogspot.jp/



JART
第30回 The 30th Japan Conference of Radiological Technologists (JCRT)
日本診療放射線技師学術大会
第21回 The 21st East Asia Conference of Radiological Technologists (EACRT)
東アジア学術交流大会
● 大会テーマ
国民・医療者と協働し質の高い医療を提供しよう
“調和がもたらす至極の業”
● 日時：平成26年9月
19日（金）・20日（土）・21日（日）
● 場所：別府国際コンベンションセンター
B-ConPlaza
● 主催：公益社団法人 日本診療放射線技師会
● 共催：公益社団法人 大分県放射線技師会
● 後援：厚生労働省（予）・大分県・別府市
・会　長：中澤 靖夫（公益社団法人 日本診療放射線技師会 会長）
・大会長：江藤 芳浩（公益社団法人 大分県放射線技師会 会長）
日本一の
おんせん県おおいた味力も満載
2014 大分
大会ホームページ
http://www.c-linkage.co.jp/30jcrt/
ふぐ料理
別府堀田温泉
湯布院の朝霧
うみたまご
関アジ・関サバ

「リレー・フォー・ライフ・ジャパンかごしま」への参加について

鹿児島県診療放射線技師会　池田　睦

鹿児島県診療放射線技師会は、昨年度より「リレー・フォー・ライフ・ジャパンかごしま」のチャリティーイベントにブースを出展し診療放射線技師の啓発活動を行っております。その内容は来場者に診療放射線領域のパネルの説明やや超音波骨密度装置における骨密度の測定等を行いました。

元々この「リレー・フォー・ライフ・ジャパンかごしま」のイベントの意義は、がん患者さんとその家族の支援を行うもので、がん患者さんと同じ立場で1つの事を成し遂げましょうと言うものです。この活動はアメリカで始まったもので、日本でもこの数年間行われています。鹿児島でも過去2回開催されており、鹿児島県診療放射線技師会は今年で2回目の参加となります。

昨年はブースを出展し診療放射線技師の啓発を行いましたが、今年はリレーウォークに参加する事が常務理事会で決定されました。

このイベントの意義はがん患者さんの支援と理解が主な主旨です。リレーウォークはがん患者さんと共に歩く事で、がん患者さんを取り巻く環境や様々な諸問題を少しでも共有しようという趣旨です。他のイベントもありますが（案内を参照)、メインは24時間のリレーウォークです。

この主旨に鹿児島県内の様々な医療団体、医療施設が協力しています。昨年も数カ所の医療施設の診療放射線技師がこのリレーウォークに参加されておられます。今回は鹿児島県診療放射線技師会でもチームを組み参加する予定です。

期日は平成26年5月10日（土)、11日（日）の2日間です。10日の正午から歩き始めて11日の正午に終了予定です。歩く時間は24時間ですが交代で歩きますので1人1時間として24人のメンバーが必要です。できれば数人で歩きたいので参加者を募集いたします。

ただ歩くだけのイベントですが、医療に携わる者として患者さんの意見や痛みを実際に聞ける良い機会だと思います。土曜、日曜日と休日ですが、少なくともその中の1時間をこのイベントに協力いただけたら非常に光栄に思います。鹿児島県内の医療施設から1名もしくは2名、また家族での参加でもよろしいです。たくさんの会員の応募をお待ちしております。

連絡先

公益社団法人　鹿児島県診療放射線技師会事務局
鹿児島大学医学部・歯学部附属病院臨床技術部　池田　睦
〒890-8520 鹿児島市桜ケ丘８丁目３５－１
tel　099-275-5915(5664)　fax 099-275-5915

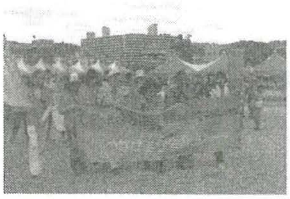
RELAY FOR LIFE JAPAN CANCER SOCIETY

RELAY FOR LIFE JAPAN

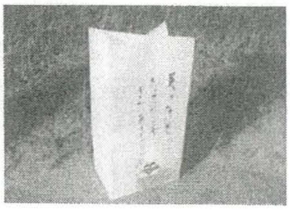
第3回がん患者・家族支援24時間イベント

2014
5/10（土）12:00 ▶ 11（日）12:00

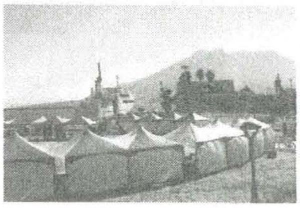
会場：ウォーターフロントパーク
（ドルフィンポート前芝生広場）



【リレー・ウォーク】
チームや個人で24時間たすきを繋いで歩き続けます。一部のみの参加も可能。



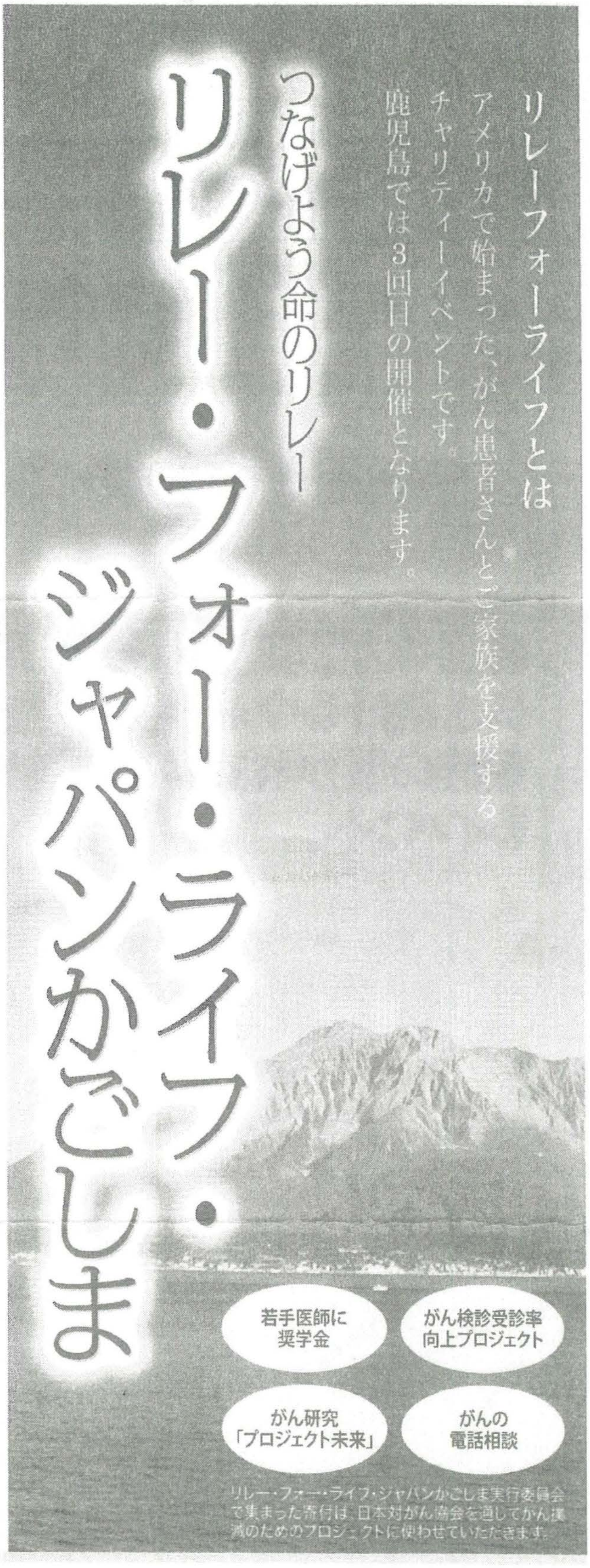
【ルミナリエ】
旅立った患者さんや今治療中の患者さんへメッセージを書いてキャンドルを灯します。



【がん啓発ブース】
がんについて知識を学べるコーナーです。がんの早期発見・治療、健康に関する情報などを、楽しく学べる催しがあります。

一般参加費／1000円
（幼児、がん患者さん無料）
小中学生／500円
※リレーウォーク、ルミナリエ代、保険料含む

【リレー・フォー・ライフ・ジャパンかごしま Blog】
http://inochi2011.jugem.jp
【Twitter】@rfl_kagoshima



RFLJ かごしま「子ども実行委員」募集中！小学生・中学生対象！

お問い合わせ／リレー・フォー・ライフ・ジャパンかごしま実行委員会
〒890-8511 鹿児島市下伊敷 3-1-7-2F NPO 法人がんサポートかごしま内
TEL/FAX **099-220-1888**

リレー・フォー・ライフ・ジャパン
参加者募集

がん患者さんと家族を支援するチャリティーイベントです

各団体が24時間、それぞれ一本のたすきを繋いで歩き続けるウォーキングを通して、がん患者さんや家族の置かれている環境や諸問題を理解・共有するイベント。

第34回　大隅地域研修会報告

大隅地域理事　島児　末治

2013年9月7日(土)鹿屋市中央公民館にて大隅地域診療放射線技師研修会を開催した。34名の参加のもと県技師会副会長より公益法人化後の活動や技師会行事予定等の報告があった。

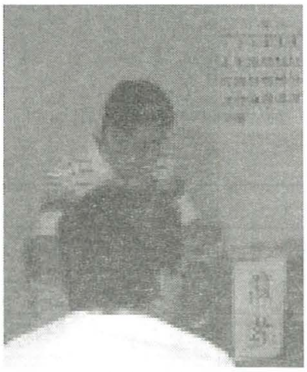
会員報告として、前回研修会に対するアンケート結果と肺がんCT認定技師取得までの取組やオープンボアタイプの1.5TMRI装置は、幅72cmと楕円形に拡張した口径が(当院MRI装置の口径約55cm)、閉所が苦手な患者や肩幅の広い患者等に対しよりリラックスして検査が受けられる特徴について紹介された。

トピックスでは、東芝メディカルシステムズの松波先生に「最新の放射線治療について」講演をして頂いた。外部照射技術法として集光照射(SRT/SRS)や強度変調照射(IMRT)があり、特に画像(CTや平面画像)をリアルタイムで撮影・監視できる画像誘導放射線治療(IGRT)等は、人体の変動に対応する技術として実用化されている。

テーマ討論Ⅰでは、「モニタ管理の現状と課題」と題してメーカーの立場からEIZO株式会社の市村由利子先生、ユーザの立場から当院の市園淳二技師がそれぞれ報告を行った。当院での4年間のモニタ輝度測定では、1Mカラーモニタの輝度低下が著明で3Mモノクロの輝度低下が少ない結果となり、モニタ更新に向け検討課題となった。また、モニタの経時的輝度劣化に対する、モニタの輝度測定や輝度低下時のキャリブレーション補正方法の対策はガイドライン(JESRA X-0093)に基づいたモニタ管理が必須である事が認識できた。

テーマ討論Ⅱは、「CT colonography(大腸 CT)検査」と題して実施した。まず、南風病院の三反田正紀・渕脇崇史技師の基調講演後、鹿屋医療センター・昭南病院がそれぞれ現状報告を行った。デスカッションでは、前処置や検査法及び画像処理等についての質問があり会員の検査に対する関心の高さが伺えた。診療報酬改定で、大腸CT撮影加算新設(600点)され、術前検査や内視鏡挿入が困難な患者で有用な検査となっている。最近は、検診事業の中で施行する施設もあり、大腸CT検査法を勉強する良い機会となった。

最後に、今後も身近な問題について地域会員が情報交換できる企画を検討する必要があると考える。

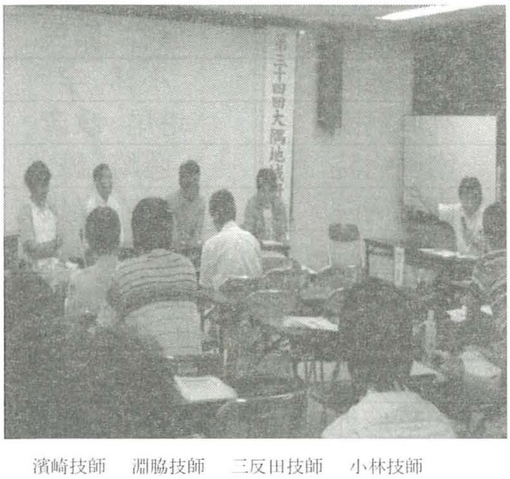


寺師技師

新村副会長

熊谷技師

平山技師



濱崎技師　淵脇技師　三反田技師　小林技師

松波先生

研修会風景

第34回大隅地域研修会プログラム

日時　平成25年9月7日(土)　時間　14時30分 ～ 18時
会場　鹿屋市中央公民館

【 県技師会活動報告 】　鹿児島県診療放射線技師会　担当理事

【 会員報告 】14:40 ～ 15:00

① 支部研究会アンケート結果報告　前田内科　寺師 俊彦
② 肺がんCT認定技師取得について　大隅鹿屋病院　平山 宗郎
③ オープンボアMRI装置(日立OVAL)の使用経験　昭南病院　熊谷 繁夫

【 トピックス 】15:00～15:40　座長　鹿屋医療センター　白坂 記男
「 最新の放射線治療について 」
東芝メディカルシステムズ株式会社　営業本部　治療営業部課長　松波 賢示先生

【 テーマ討論 1】15:50 ～ 16:50　座長　大隅鹿屋病院　永山 崇臣
～ モニタ管理の現状と課題 ～
(経時劣化したモニタの現状と対策について協議します)
① メーカーの立場から
EIZO株式会社　福岡営業所　市村 由利子 先生
② ユーザーの立場から
垂水市立医療センター垂水中央病院　市園 淳二
※ 医用モニタの機器展時を行う予定です

【 テーマ討論 2】17:00 ～ 18:00　座長　大隅鹿屋病院　村山 孝二
～ CT colonography 検査 について ～
(検査法や画像処理の注意点等について協議します)
基調講演　鹿児島共済会南風病院　三反田 正紀先生　淵脇 崇史先生
施設報告　① 昭南病院　小林学　② 鹿屋医療センター　濱崎 誠

【 参加者氏名】

番号	施設名	氏名	番号	施設名	氏名
1	大隅鹿屋病院	村山 孝二	17	おぐら病院	山神 昭彦
2	大隅鹿屋病院	深水 武	18	前田内科	寺師 俊彦
3	大隅鹿屋病院	平山 宗郎	19	垂水徳洲会病院	原畠 勝己
4	大隅鹿屋病院	永山 崇臣	20	井の上病院	中村 裕
5	大隅鹿屋病院	田中 謙太朗	21	今給黎総合病院	新村 栄次
6	大隅鹿屋病院	原田 健吾	22	昭南病院	熊谷 繁夫
7	大隅鹿屋病院	清水 香織	23	昭南病院	小林 学
8	垂水中央病院	島児 末治	24	高原病院	塔尾 政彦
9	垂水中央病院	市園 淳二	25	南風病院	藤崎 誠
10	垂水中央病院	坂本 幸望	26	南風病院	淵脇 崇史
11	鹿屋医療センター	濱崎 誠	27	南風病院	三反田 正紀
12	鹿屋医療センター	白坂 記男	28	南風病院	高田橋 司
13	鹿屋医療センター	中原 隆重	29	池田病院	田之上 武士
14	おぐら病院	山本 秀明	30	池田病院	石原 剛
15	おぐら病院	松元 清高	31	徳久整形外科	松野下 直美
16	おぐら病院	福元 睦美	32		

平成25年度北薩地域研修会　　終了報告

北薩地域理事　　岡野三男

平成25年11月9日土曜日、済生会川内病院において第22回北薩地域研修会を開催しました。参加者52名（会員42名・非会員4名・メーカー他6名）で
鹿児島県放射線技師会が公益社団法人へ移行して北薩支部から北薩地域と名称変更後の最初の研修会でした。
研修会は会員研究発表からで済生会川内病院の西原技師からは『当院の放射線治療』について放射線治療機器更新の経緯について新旧装置との比較、治療計画用CT撮影、線量分布作成、コーンビームCT撮影など治療計画や年度別治療件数の推移など特に乳房、肝臓の放射線治療件数の増加があるとの報告でした。
県立北薩病院の吉福技師からは『当院の医用画像表示モニタの現状と課題』について品質管理試験を行った報告で目視試験、センサー試験、グレースケールの評価、アーチファクトの評価、輝度均一性評価などについてモニタの品質管理を通してモニタ診断での読影精度の向上を目指す報告でした。
川内市医師会立市民病院の秋葉技師からは『3D-FRFSE(Fast Recovery FSE))法を用いた椎骨脳底動脈描出における至適撮像条件の検討』について3D-FRFSE法は3D-TOF-MRAと併用することで血管性病変評価において有用な情報が提供でき画像処理にて任意の角度やvolumeでの観察が可能となり臨床的に有用との報告でした。教育講演は済生会川内病院副院長の小野原信一先生より『人に優しいがん放射線治療』と解りやすく優しい演題名のとおりの講演でした。
メーカー講演は富士ボリュームアナライザーSYNAPSE VINCENTの紹介でした。
出席者も内容もボリュームたっぷりな研修会、情報交換会でした。
最後に被爆医療施設見学など済生会川内病院放射線部の皆様へ感謝いたします。

平成25年度　北薩地域　地域理事・世話人

地域理事（総務）	:	岡野三男	（医）杏林会　丸田病院
世話人（財務）	:	出水田尚文	県立北薩病院
世話人（学術）	:	古田正成	出水総合医療センター
世話人（学術）	:	前田健一郎	川内市医師会立市民病院
世話人（編集）	:	村野和久	済生会川内病院
世話人（広報）	:	灰床利隆	いちき串木野市医師会立脳神経外科センター
世話人（組織）	:	児玉康照	済生会川内病院
世話人（福利厚生）	:	春口良久	（医）栄和会　寺田病院

第22回北薩地域研修会プログラム

司会　：　いちき串木野市医師会立脳神経外科センター　　灰床 利隆

【1】　開会の挨拶　　（公社）鹿児島県診療放射線技師会　地域理事　　岡野 三男

【2】　会長挨拶　　（公社）鹿児島県診療放射線技師会　副会長　　新村 栄次

【3】　会員発表　　座長 ： 出水総合医療センター　　濱下 育男

①　「 当院の放射線治療 」
　　済生会川内病院　　西原 秀樹

②　「 当院の医用画像表示用モニタの現状 」
　　県立北薩病院　　吉福　淳

③　「 ３D-ＦＲＦＳＥ（Fast Recovery FSE）法を用いた
　　椎骨脳底動脈描出における至適撮像条件の検討 」
　　川内市医師会立市民病院　　秋葉 裕史

【4】　教育講演　　座長 ： 川内市医師会立市民病院　　前田 健一郎

『 人に優しいがん放射線治療 』
　　済生会川内病院　副院長　　小野原 信一 先生

休憩　　16：20 ～ 16：30

【5】　メーカー講演　　座長 ： 済生会川内病院　　村野 和久

『 富士ボリュームアナライザーSYNAPSE VINCENTの御紹介 』
　　富士フィルムメディカル（株）ITソリューション事業本部　　杉田 匡之 先生

【6】　閉会の挨拶　　県立北薩病院　　出水田 尚文

【7】　施設見学　　済生会川内病院　放射線部・被爆医療施設　　17：00 ～ 17：30

情報交換会　　やまびこ（和風居酒屋）　薩摩川内市東向田町１２-５　　１８：００～
　　TEL０９９６-２０-００２５　　飲み放題　　会費３５００円

司会　灰床利隆

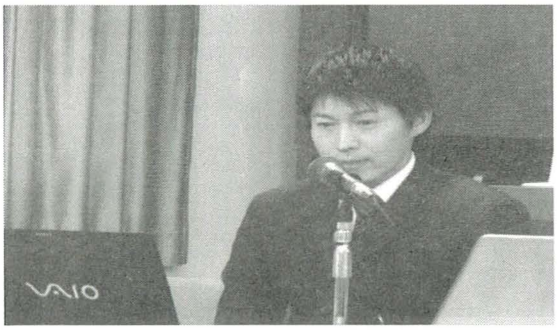
開会の辞　岡野三男

挨拶　新村栄次副会長

会員研究発表　座長　溝下育男

発表　済生会川内病院　西原秀樹

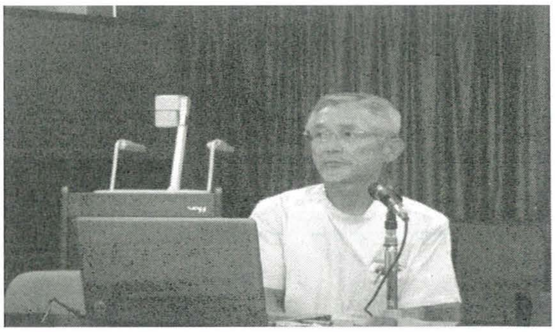
発表　県立北薩病院　吉福　淳



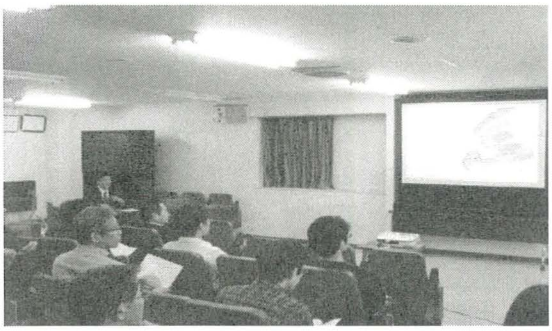
発表　川内市医師会立市民病院　秋葉裕史

会場

教育講演　座長　前田健一郎

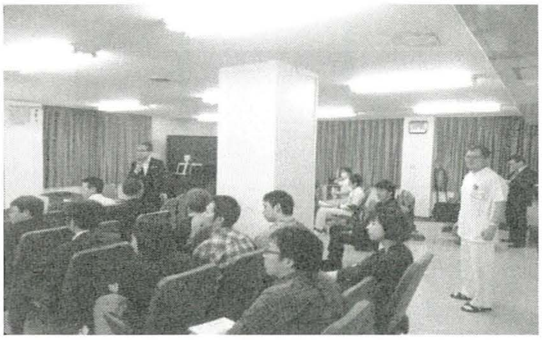


教育講演　済生会川内病院　小野原信一先生



メーカー講演　座長　村野和久

メーカー講演　杉田匡之先生



会場

閉会の辞　県立北薩病院　出水田尚文

情報交換会

情報交換会

出 席 者

【技師】　46名

済生会川内病院	8	児玉康照、村野和久、西原秀樹、宇都浩一朗、荒武俊平、岡本　拓、中島隆志、上田康博
川内市医師会立市民病院	8	大久保光男、前田健一郎、中村晋輔、沖中裕幸、秋葉裕史、武宮　太、西園加奈子、薗田大樹
出水総合医療センター	5	古田正成、溝下育男、中野孝二、福崎力也、神　禎子
県立北薩病院	3	出水田尚文、児玉公輝、吉福　淳
寺田病院	3	春口良久、永野喜之、永山みずえ
新門整形外科	3	東條昌樹、恵　雄志、田畑諒二
川内駐屯地業務隊衛生科	2	川西義浩、宮脇浩美
出水郡医師会広域医療センター	2	上田大祐、丸野達也
いちき串木野市医師会立脳外科センター	1	灰床利隆
大口温泉リハビリテーション病院	1	高野勝哉
長島町国民健康保険鷹巣診療所	1	田中義朗
薩摩郡医師会立病院	1	中村若夫
川薩保健所	1	榮村仁史
若松記念病院	1	小林正剛
花牟礼病院	1	堀口義信
南洲整形外科	1	東　聡司
水間病院	1	菊池春喜
今給黎総合病院	1	新村栄次
JA厚生連健康管理センター	1	原口　誠
丸田病院	1	岡野三男

【メーカー他】　6名

済生会川内病院	1	小野原信一
富士フイルムメディカル	3	杉田匡之、川崎　晃、藤井慎也
コニカミノルタヘルスケア	2	芳賀智行、田中裕介

平成 25 年 11 月 29 日
公益社団法人　鹿児島県診療放射線技師会

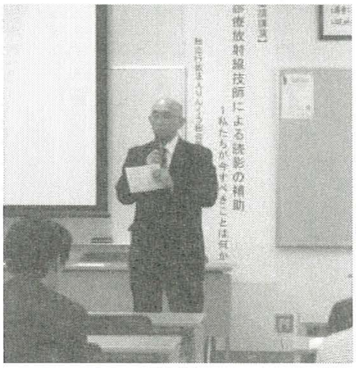
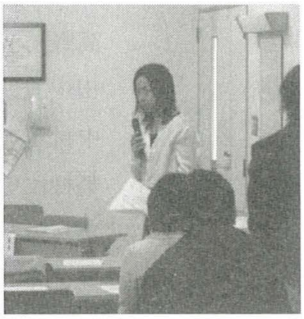
平成 25 年度　公益社団法人　鹿児島県診療放射線技師会 秋季学術大会(in 霧島・姶良地域)　終了報告

1.日程

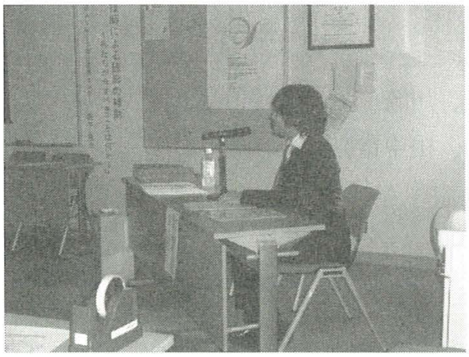
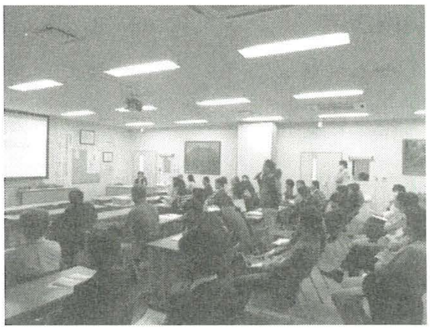
開催日：平成 25 年 11 月 16 日(土)
時　間：15 時～18 時 30 分
会　場：霧島市立医師会医療センター　大会議室

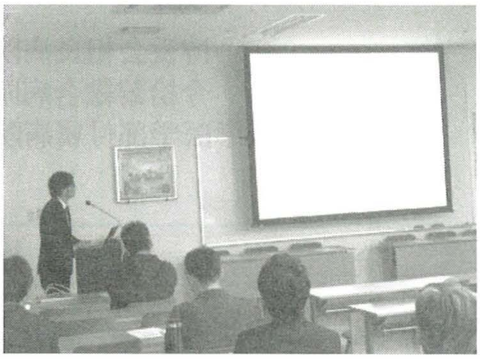
2.会内容

【Ⅰ】 開会挨拶
公益社団法人　鹿児島県診療放射線技師会　　会長　池田　睦

【Ⅱ】 一般演題
1.『膝蓋骨における軸位撮影　～固定具の検討～』
霧島市立医師会医療センター　池田　隆太
2.『FDG-PET の腹部遅延像の有用性』
鹿児島共済会南風病院　持留　浩輔
3.『当院における鹿児島市乳癌検診の現状』
鹿児島市立病院　平原　茜



【Ⅲ】パネルディスカッション

≪読影補助　～後進のために今我々に何ができるか～≫

1.基調講演

『診療放射線技師による読影の補助　～私たちが今すべきことは何か～』

独立行政法人りんくう総合医療センター　坂下恵治先生

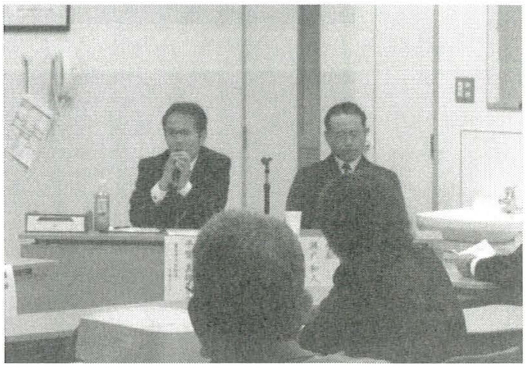
2.パネラー講演

●消化管研究会　鹿児島共済会南風病院　淵脇崇史

●超音波研究会　鹿児島厚生連病院　西憲史氏

●乳房研究会　博愛会相良病院　岡本留美
●CT 研究会　今給黎総合病院　新村栄次
●MR 研究会　鹿児島大学医学部付属病院　藤崎拓郎

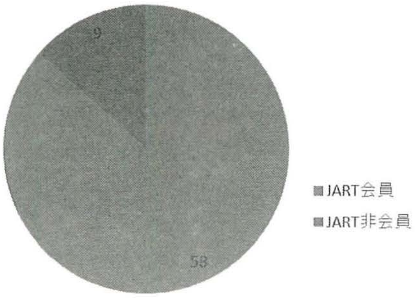
【Ⅳ】シンポジウム(総合討論会)

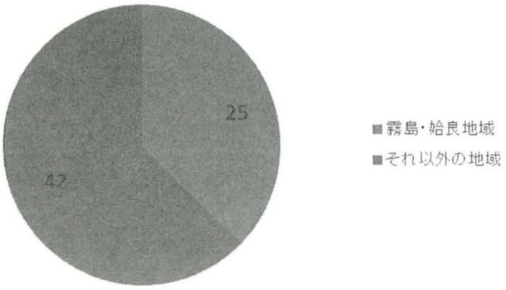


【Ⅴ】閉会挨拶
(公益社団法人)鹿児島県診療放射線技師会　霧島姶良地域理事　平賀　真雄

3.出席者　67名

《内訳》会員　58名　　非会員 9名
　　　　霧島・姶良地域　25名　　他地域 42名





4.総評

一般3演題、各研究会からパネラーとして5演題、そして大阪から坂下先生に来ていただき、基調講演をと、少し欲張りすぎた内容でした。

時間も3時間半と少し長くなり休憩時間も短く、討論時間も充分にとれなかったことをこの場をお借りしてお詫びいたします。

パネルディスカッションは≪読影補助　～後進のために今我々に何ができるか～≫という、いま我々診療放射線技師のホットなテーマで各研究会代表の方たちから現状報告・将来展望など報告していただきました。

坂下先生からはJART読影分科会副委員長として、JARTの考え方や今後の方針・アンケート結果などご報告いただきました。また、先生のご専門である救急での取り組みについても熱く語っていただきました。

それぞれのモダリティでの取り組みに差があり、非常に興味深い内容であり、改めて我々現役診療放射線技師が後進のために、いま何をすべきかが見えてきたように思います。

お集まりいただいた皆様にも刺激になり、今後の進むべき道のヒントが得られたのではと考えております。

膝蓋骨における軸位撮影　～補助具の検討～

霧島市立医師会医療センター　　放射線室

池田　隆太

【背景・目的】

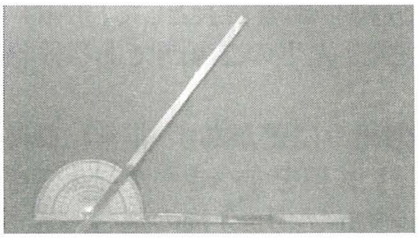
平成24年度鹿児島県診療放射線技師会　春季学術大会での発表をもとに問題点の改善を図るため補助具を作成した。

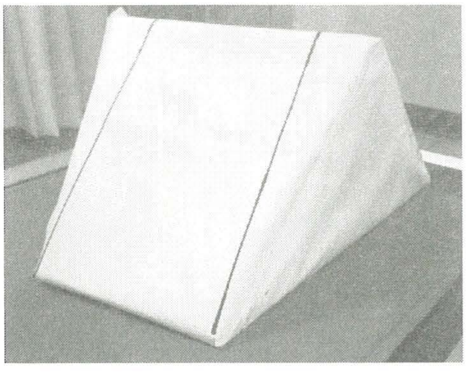
(問題点)

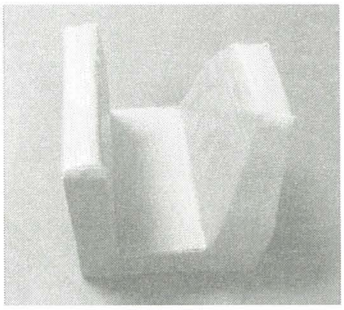
撮影時間が延長した。
下腿の15度を保持することが困難であった。

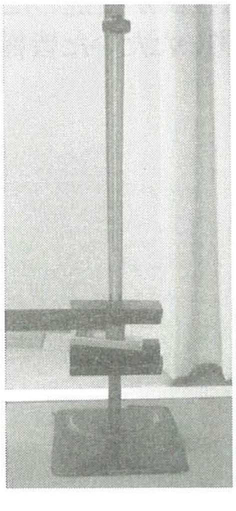
【使用機器】

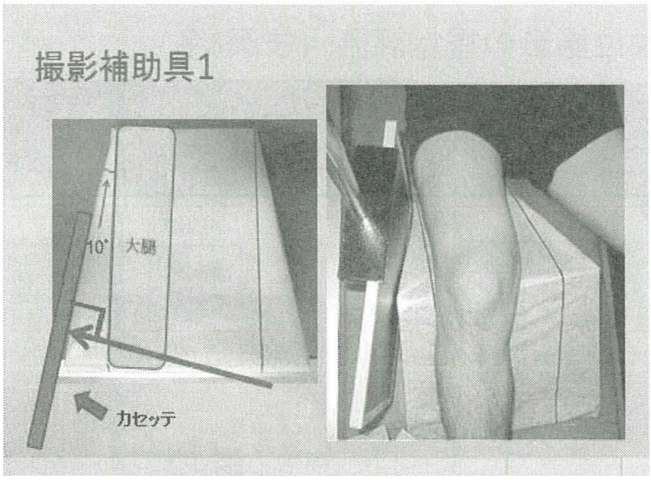
一般撮影装置　　　SHIMADZU　　　UD150L-40
ＣＲ装置　　　フジメディカル　　FCR　Speedia　CS
角度計
カセッテホルダー
撮影補助具：２つ



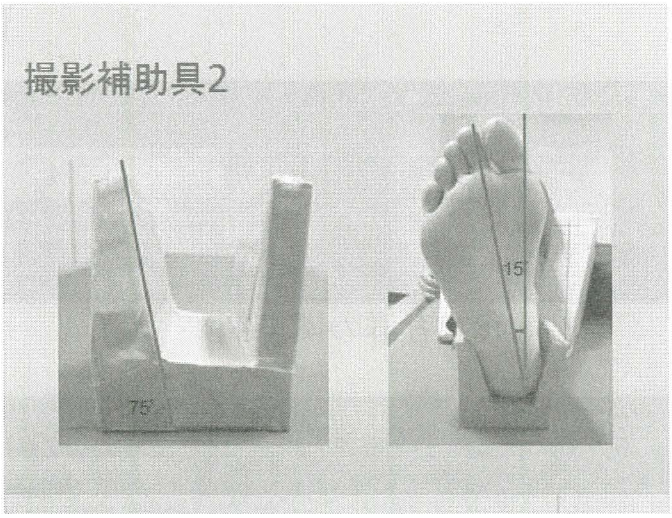








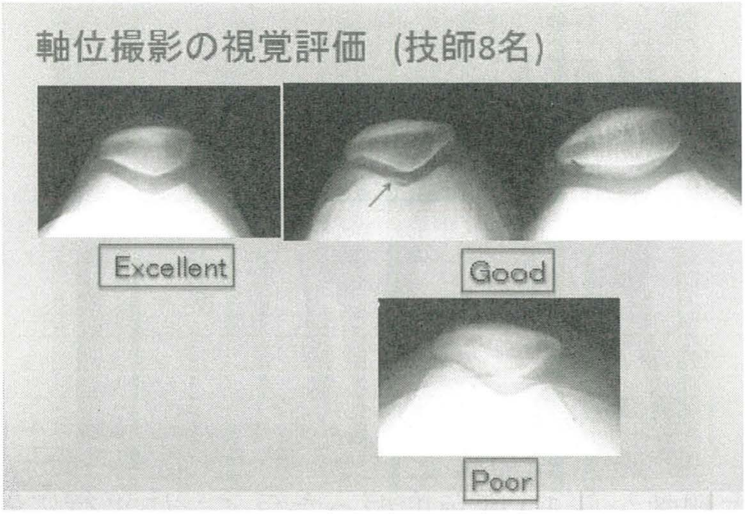
カセッテを大腿骨から10度角度振ったラインに平行に置くため
補助具にしるされたラインに大腿を合わせ補助具の側面にｶｾｯﾃを
付けることで簡便に１０度振った角度にﾎﾟｼﾞｼｮﾆﾝｸﾞできるよう
作成した。なお、側面撮影時の管球はカセッテと平行にし撮影する。



外旋15度より外旋または内旋しすぎないように
補助具で下腿部の固定を行った。

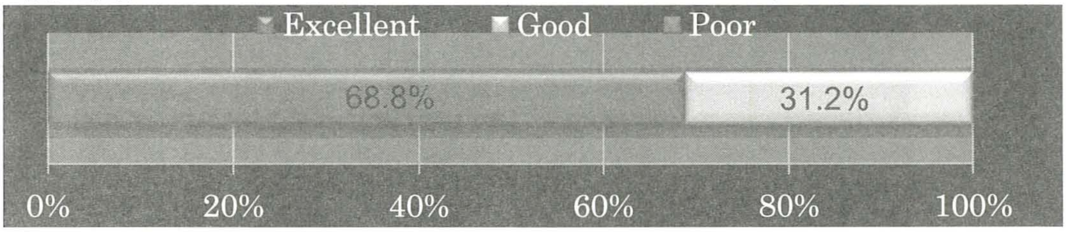
【方法・対象】
２つの撮影補助具を使用し、軸位撮影を行い関節間隙の評価を
行った。

関節痛のない健常者群	12名
患者群	8名

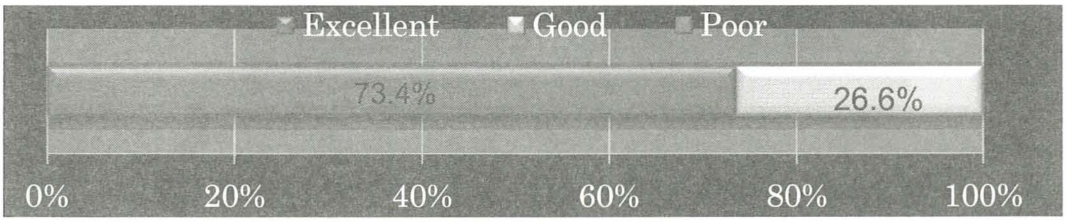


膝蓋骨のずれがなく関節間隙がみえるものはExcellent,
関節間隙が見えるが脛骨が被ったもの、膝蓋骨の下辺のラインが二重であるものはGood,
関節間隙が観察不可能であるものはPoorとした。

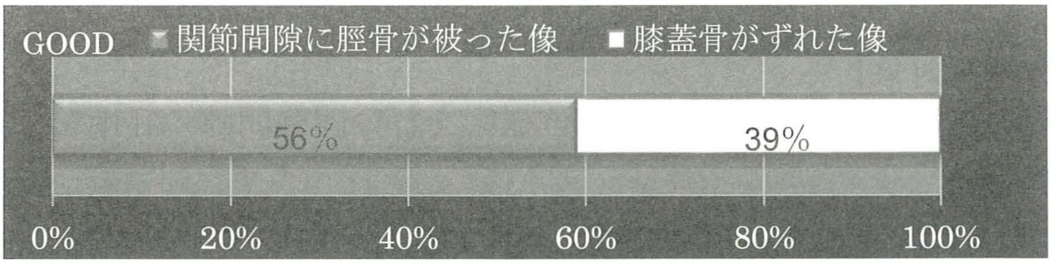
【結果】



健常者群の関節間隙



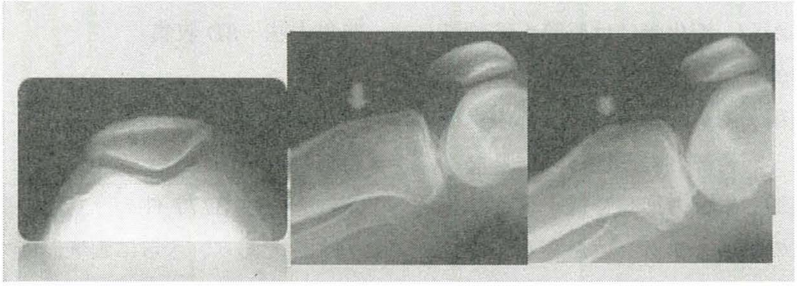
患者群の関節間隙



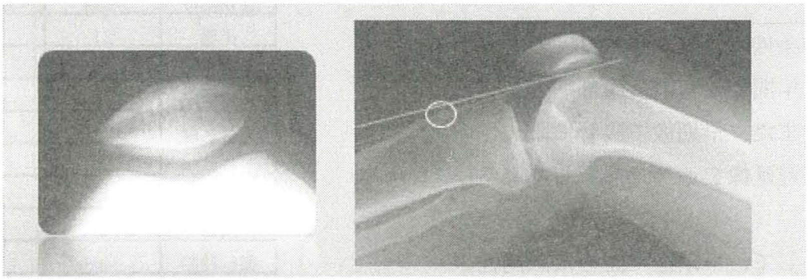
全体の関節間隙

【考察】

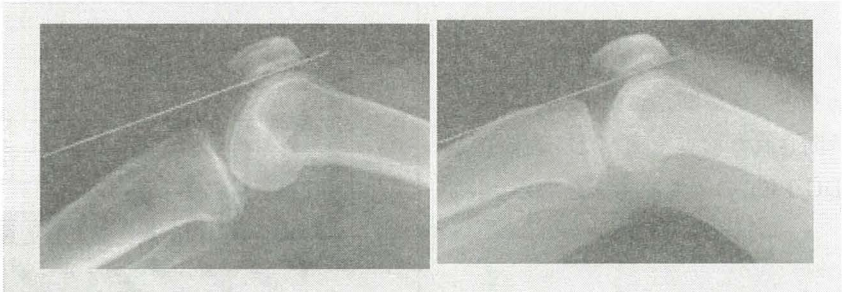
GOOD の 56%は関節間隙に脛骨が被った像であった。原因としては
膝蓋靭帯が付着する脛骨粗面が関節間隙に描出されることが
考えられる。



39%は膝蓋骨がずれた像であった。側面像から角度計測時に
関節間隙に脛骨粗面が被ってしまうのを避けるために射入角度を、
若干変えてしまったことが原因と考える。



今後の射入角度の測定は膝蓋骨の上点と下点を結ぶラインを基準として撮影することが最良ではないかと考える。



【結語】

撮影補助具を作成し、検討を行ったことで、前回の問題点を解決し、再現性のある画像を得ることが出来た。

当院における FDG-PET の腹部遅延像の有用性

鹿児島共済会　南風病院　　持留　浩輔

【背景および目的】

FDG-PET の代謝診断は癌細胞の増殖や悪性度を直接反映しており、癌細胞は FDG の集積が高く診断の適応となる。しかし、消化管には腸管の蠕動等による FDG の生理的集積がある。早期像にて限局性ないし結節状の集積が認められた場合、その集積が偽陽性集積となり、病変部との鑑別が困難となる。そこで、遅延像を追加し集積の増強や低下、移動をみることで集積部位の鑑別をする必要がある。

今回、FDG-PET 検査において遅延像が診断に与える影響について検討したので報告する。

【評価方法】

対象とする検査の条件は、期間が 2012 年 8 月から 2013 年 7 月の 1 年間で検査前に腹部病変を指摘されていないこと、また、早期像で腸管に限局性の集積を認め、腹部の遅延像を追加で撮影している検査とした。

まず評価方法 1 として、早期像で認めた限局性の集積を部位ごとに集計し、また早期像と遅延像で同一部位に認めた限局性の集積を部位ごとに集計した。その結果より各部位における集積の特性を評価した。

次に、評価方法 2 として対象検査において FDG-PET で病変ありと画像診断された後、内視鏡検査を施行し確定診断された検査を調べた。両検査の診断結果から、FDG-PET の陽性的中率を求めた。

【使用機器および撮像条件】

- 使用核種：18F-FDG（Fluoro-Deoxy-Glucose）
- 使用機器：GE 社製 PET/CT 装置（Discovery ST Elite、Discovery 600M）
- 収集時間：早期像 2min/BED（ただし肝臓の入る BED のみ 3min 収集）
  遅延像 3～4min/BED（総撮影時間を考慮し BED 数により変化）
- 投与量：3.7MBq/kg
- 撮像時間：早期像は投与 1 時間後に撮影
  遅延像は投与 2 時間後に撮影
- 収集方法：3D 収集

【結果】

全検査件数 3777 件のうち対象条件を満たす検査は 113 件であり、さらに画像診断で病変の有無の判断が不可であった検査が 4 件あったので、今回はそれを省いた 109 件を対象とした。

表 1.　早期像および遅延像の集積部位と件数

集積部位	早期	早期＋遅延
小腸	31	4
直腸	21	11
S 状結腸	17	12
上行結腸	12	6
下行結腸	8	6
脾弯曲部	5	4
SDJ	4	4
横行結腸	4	1
肝弯曲部	3	2
盲腸	2	0
回盲部	2	1

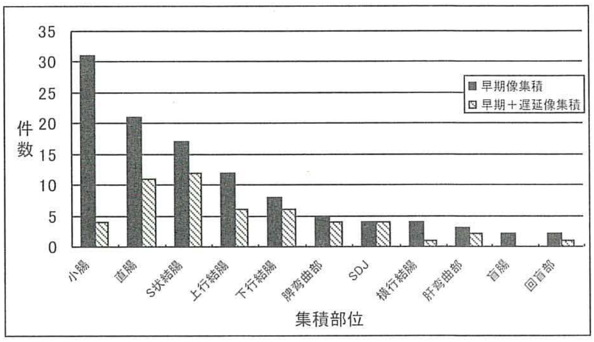


Fig.1　早期像および遅延像の集積部位と件数

頭側より小腸、回盲部、盲腸、上行結腸、肝弯曲部、横行結腸、脾弯曲部、下行結腸、SDJ、S 状結腸、直腸の 11 部位に分類した。

早期像では小腸で最も多い 31 件の限局性集積があり、次いで直腸が 21 件、S 状結腸が 17 件、上行

結腸が12件という結果になった。他部位は2から8件という少数であった。

早期像と遅延像の両撮影で認めた限局性集積は、S状結腸が最も多い12件、次いで直腸が11件、上行結腸と下行結腸が6件という結果になった。他部位は0から4件の少数であった。（表1）（Fig.1）

表2．各集積部位の偽陽性率

集積部位	生理的集積（件数）	病的集積（件数）	偽陽性率(%)
小腸	27	4	87.1
直腸	10	11	47.6
S状結腸	5	12	29.4
上行結腸	6	6	50
下行結腸	2	6	25
脾弯曲部	1	4	20
SDJ	0	4	0
横行結腸	3	1	75
肝弯曲部	1	2	33.3
盲腸	2	0	100
回盲部	1	1	50

限局性集積が早期像と遅延像の両撮影で認められた場合、病変あり（病的集積）と画像診断されていることから、対象検査のうち生理的集積は遅延像で集積の移動・低下を認めた

（早期像集積）−（早期像＋遅延像集積）

の件数となる。

この病的集積と生理的集積の件数より偽陽性率を求めると、小腸で87.1%、直腸で47.6%、S状結腸で29.4%、上行結腸で50%という結果になった。

これより、小腸では早期像で限局性集積が多くみられるものの、そのほとんどが生理的集積であり、偽陽性の集積である可能性が高いことがわかる。またS状結腸では、集積の継続・増強がみられやすく、病的集積の可能性が高いということになる。（表2）

対象検査においてFDG-PETで病変ありと画像診断された後、内視鏡検査を施行し確定診断された件数は15件であった。

病変集積と画像診断された15件のうち13件は内視鏡検査にて病変があり、その結果FDG-PETの陽性的中率は86.7%であった。

これより、FDG-PET検査において病変があると画像診断された場合、実際に病変が存在している可能性が高いということになる。（表3）

表3．FDG-PETによる画像診断と内視鏡による確定診断の一致

検査	内視鏡による確定診断	FDG-PET画像診断との一致
A	大腸憩室	○
B	大腸憩室	○
C	粘膜浮腫	○
D	病変なし	×
E	Ⅱa様ポリープ	○
F	大腸炎	○
G	Ip 10mm	○
H	腺腫性ポリープ	○
I	大腸憩室	○
J	ⅢA主体の病変	○
K	大腸ポリープ	○
L	異常なし	×
M	直腸癌（手術）	○
N	大腸癌（生検）	○
O	大腸癌	○

【まとめ】

早期像での限局性集積は小腸に最も多く、その限局性集積は約87%で生理的集積である。また、早期像での限局性集積は小腸に次いで直腸およびS状、上行結腸へ多くみられ、遅延像では約52%、70%、50%集積の増強や継続がみられる。

遅延像で集積が低下せず増強または継続し、病変ありと画像診断された場合のPET/CT検査の陽性的中率は約87%である。

【考察】

早期像での限局性集積は小腸に最も多いが、偽陽性の可能性も高い。早期像で直腸およびS状、上行結腸への限局性集積は小腸に次いで多く、小腸と比較すると遅延像でも集積が移動・低下しないため病変のある可能性が高い。

遅延像でも集積が低下せず増強または継続している場合、実際に病変が存在している可能性が高い。

【結語】

腹部領域において早期像で限局性の集積を認めた場合、遅延像の追加撮影は、その集積が生理的か病的か鑑別する際に非常に有用であるということがわかった。

当院における鹿児島市乳がん検診の現状

鹿児島市立病院　放射線技術科
平原　茜　　太田原　美郎　　隈　浩司

【目的】

がんは日本人の死因の第1位であり、死亡率を下げるためには検診での早期発見と治療が重要である。しかし、がん検診の受診率は低く、乳がん検診、子宮頸がん検診の受診率はともに20%程度と言われている。これを受け、平成21年度より厚生労働省のがん検診推進事業の一つとしてがん検診無料クーポンが配布された。鹿児島市では、従来視触診のみであった乳がん検診が平成23年度からマンモグラフィ併用となり、同年度当院でも実施されるようになった。開始後わずか2年ではあるが、昨年度までの受診状況とその問題点について報告する。

【方法】

当院で乳がん検診無料クーポンの受け入れを開始した平成23年度～平成24年度の2年間において、鹿児島市乳がん検診の受診者数と無料クーポンの利用状況を調べた。また、受診者が各自記入した問診票をもとに、受診者についての詳細や検診結果、問題点などを探った。

【鹿児島市における女性特有のがん検診推進事業】

・女性特有のがん検診における受診促進や、がんの早期発見と正しい健康意識の普及、健康保持を図ることが目的。

・鹿児島市が実施するがん検診において、特定の年齢に達した女性に子宮頸がん及び乳がん検診の無料クーポン券を送付。

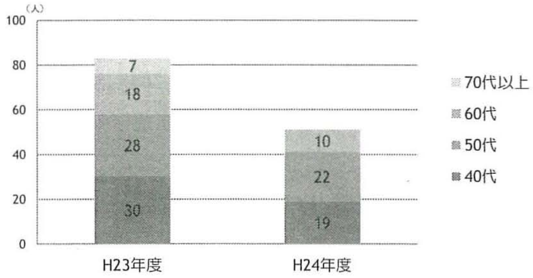
・対象年齢　・・・40歳、45歳、50歳、55歳、60歳

・鹿児島市乳がん検診と保険適用の乳がん検診との違い

	鹿児島市乳がん検診	保険適用の乳がん検診
検査内容	・視触診 ・マンモグラフィ 40代…2方向 50代以上…1方向	・視触診 ・マンモグラフィ2方向 ・超音波
料金	40代…3,000円 50代以上…2,900円	3割負担の場合約2,800円

結果

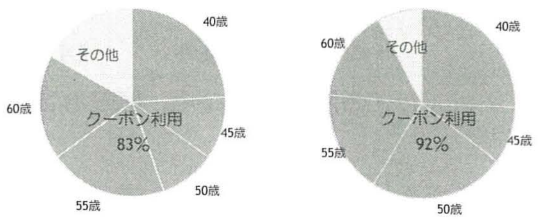
・年齢別の受診者数



83名　➡　51名　に減少

・クーポン利用者の割合

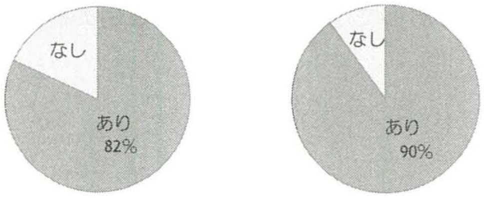
H23年度　H24年度



69名／83名中　　47名／51名中

・受診歴

H23年度　H24年度

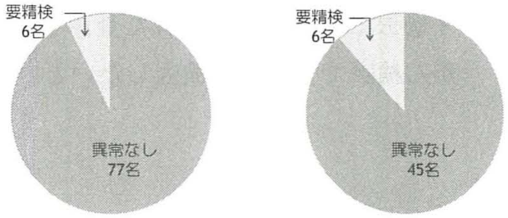


受診歴なし内訳

	H23年度	H24年度
40代	4	1
50代	5	3
60代	4	1
70代以上	2	0
計	**15名**	**5名**

・検診結果

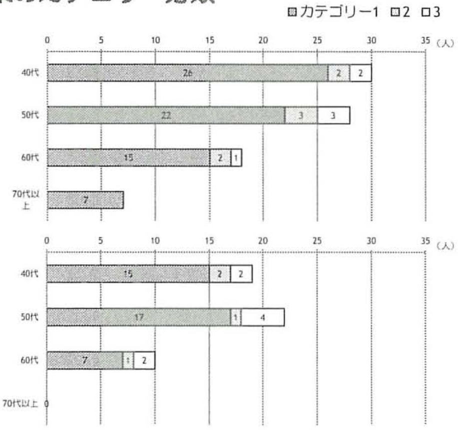
H23年度　H24年度



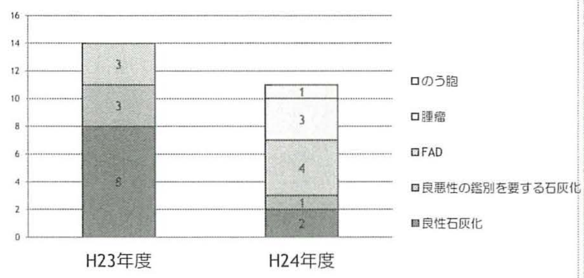
要精検者数（人）

	H23年度	H24年度
40代	2	2
50代	3	3
60代	1	1
70代以上	0	0

・検診結果のカテゴリー分類



・所見の内訳



要精検者１２名のうち、８名が当院で精検を受診。

結果 ➡ 異常なし２名、経過観察２名、乳腺症２名、線維腺腫１名、のう胞１名
明らかな乳がんは見つからず。

【問題点と考察】

1．受診者数の減少

・クーポン利用者・・・69名から47名に減少。前年の約68%。

・クーポン対象外・・・14名から4名に減少。前年の約29%。

・当院だけでなく、他院も含め鹿児島市全体が同様の傾向にあることが判明。

↓

乳がん検診に対する認識や普及啓発の不十分さだけでなく、保険適用の乳がん検診に比べ検査内容が限られていることも原因と考えられる。

2．保険適用の乳がん検診との違い

・保険適用の乳がん検診であれば年齢に関係なく2方向撮影となり、所見があった場合でも追加撮影が可能である。

・クーポン券があれば鹿児島市乳がん検診は無料だが、超音波を希望する受診者は別料金で超音波を受けていた。

・鹿児島市の乳がん検診を自己負担で受診する場合に比べ、保険適用の乳がん検診であれば同程度の料金で超音波まで受けられる。

・過去に所見を指摘された受診者の中には、クーポン券があっても利用せず保険適用の乳がん検診でしっかり検査したいという声もあった。

【まとめ】

鹿児島市の乳がん検診と保険適用の乳がん検診を比べると、検査内容や料金などの違いから保険適用の乳がん検診を選択する受診者が多くみられた。

無料クーポンの利用促進のためには、鹿児島市の乳がん検診で保険適用の乳がん検診と同じ内容の検査を実施できれば理想的だが、対象者の人数や自治体の財政状況等の関係で実現は困難である。

しかし、乳がん検診を受けたことがない受診者にとっては、無料クーポンの配布が乳がん検診に足を運ぶ良いきっかけになっていた。

現在の制度の中で検診受診率を上げるためには、検診や健康意識の普及啓発が重要であると考えられる。

『第１回鹿児島超音波研究会報告』

鹿児島超音波研究会
霧島市立医師会医療センター　塩屋晋吾

鹿児島県診療放射線技師会超音波研究会が発足され，第 1 回の記念研究会を 2013 年 8 月 3 日(土) にさがらパース通りクリニックにて開催しました。本研究会の趣旨としては，超音波検査をこれから始めようとされている方，日頃１人で悩みながらされている方，またベテランの方まで全ての方を対象としており，気軽に参加して頂くよう広報していましたが，
当日の参加者が予想をはるかに上回る 111 名(うち JART 非会員 50 名)と大盛況でした。
そのため予め用意していた資料が不足し，全参加者に配布できずご迷惑をおかけしたりもしました。

当日の研究会内容としましては，まずパネルディスカッションとして「超音波検査の有用性」ということで他モダリティの画像診断より超音波検査が優れている点について各領域毎にそれぞれ症例を交え提示し，発表者が超音波検査を始めたきっかけや日頃悩んでいる事などについてディスカッションしました。次に，「腹部ルーチン検査の進め方」ということで当院の平賀さんがライブレクチャーを行いました。こちらは参加者の方からも分かりやすかったというご意見を多数頂けました。 最後に当院の重田浩一朗先生の方から「最近の超音波診断技術のすごさ」という特別講演をして頂きました。最近の学会での話題や超音波の基礎的な事まで幅広い内容で超音波検査の魅力が伝わったのではと思います。

今回の内容に関しては，6 名の世話人で試行錯誤しながら企画しましたが，当日はアッという間に終わってしまった印象でした。参加者の方々にも大方満足して頂けたのではと考えています。

今後の本会の予定としましては，第2回研究会を 2014 年 1 月 17 日(金)に鹿児島厚生連病院にて，また第 3 回を 4 月に開催予定です。超音波検査の魅力を皆さんにお伝えできるよう努めていきたいと考えていますので，ぜひ今後の研究会にもお気軽に参加して頂けたらと思います。

『第2回鹿児島超音波研究会報告』

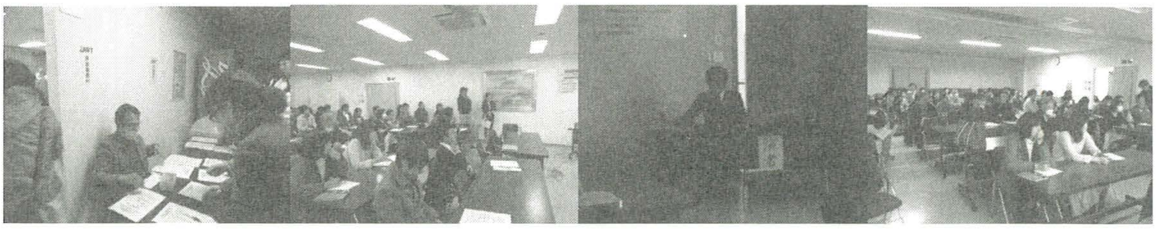
鹿児島超音波研究会
霧島市立医師会医療センター　塩屋晋吾

平成26年1月17日(金)に第2回鹿児島県放射線技師会超音波研究会が鹿児島厚生連病院で開催されました。第1回同様、超音波検査をこれから始めようとされている方，日頃1人で悩みながらされている方，またベテランの方まで全ての方を対象とし，気軽に参加して頂くよう広報していましたが，当日の参加者が予想をはるかに上回る75名(JART会員36名・非会員39名、職種別では放射線技師47　名・放射線技師以外　28名)と放射線技師の参加者が目立ち、また金曜日の平日開催であったにも関わらず大盛況でした。

当日の研究会内容は，まず症例報告として今回は「私の痛い経験」というタイトルでヲサメ内科クリニックの下園さんに報告して頂きました。症例から学んだ反省点を踏まえた報告で会場とのディスカッションも盛んに行われました。次に血管領域のレクチャーとして「明日からできる頸動脈エコー実践」というタイトルで指宿浩然会病院 國生さんにレクチャーして頂きました。頸動脈検査時に気を付ける点や工夫する点、また症例も含めた内容で参加者の皆さんにタイトル通り明日から検査に役立てて頂けるのではと思います。次に腹部領域のレクチャーとして私のほうから肝臓の超音波解剖にまつわるレクチャーを行いました。超音波解剖だけでなく見逃しやすい部の走査法の対策やアプローチ法も含めて話させて頂きました。最後に鹿児島厚生連病院の西さんから「US vs CT・MR　～肝SOLの描出～」というタイトルで肝臓の占拠性病変の超音波での見え方と他モダリティでの見え方の違いについてレクチャーして頂きました。日常よく遭遇する病変を読影法を詳しく説明して頂き、会場からの質問も盛んにありいいディスカッションとなったようです。

今回の内容に関しても第1回研究会同様、参加者の皆さんに満足して頂けたのではと考えています。また大きなトラブルもなく無事に開催できスタッフ一同ホッとするとともに、皆さんの超音波検査に対する関心と熱意の高さを痛感しました。

今後の本会の予定は，第3回研究会を4月に開催予定です。超音波検査の魅力が皆さんに伝わるような内容を企画したいと考えていますので、ぜひ今後もお気軽に参加して頂けたらと思います



平成25年度　鹿児島消化器画像研究会活動報告

鹿児島共済会南風病院
淵脇崇史

鹿児島消化器画像研究会は年に4回開催しており、平成25年度も4月、7月、10月と開催し、今年度最後は平成26年1月25日に開催予定です。

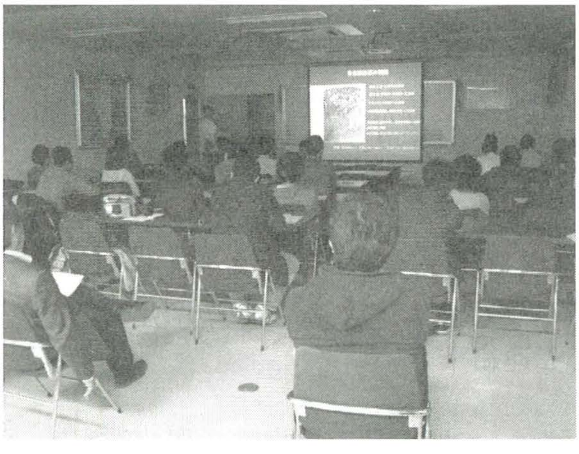
鹿児島消化器画像研究会では、4月、10月は平日に症例レクチャーを中心の研究会を行っており、7月、1月は土曜日の午後より学術講演を中心に研究会を行っています。

7月27日に行われた研究会は、学術講演を中心に開催致しました。学術講演1では天神クリニックの森一宏先生に、「胃基準撮影による透視観察のポイント」と題し、胃X線検査の撮影技術・また検査中に必要な透視画像の確認についてわかりやすくご講演いただきました。学術講演2では南風病院の名誉院長である西俣寛人先生に、「胃がんの診断～未解決の領域～」と題しご講演を頂き、これからの胃X線検査での読影や病変の拾い上げについて、内視鏡でも指摘が難しい症例やX線が有用な症例など提示しながらお話ししていただき、非常に充実した学術講演でありました。

1月25日に開催予定である研究会では､学術講演として今村病院の大井秀久先生による、ＩＢＤ疾患おけるX線検査についてご講演を頂く予定であります。またメーカー3社から、透視装置の精度管理・最新情報について情報提供を頂く予定です。

参加者は、毎回、30～40名程の参加者があり、市内外また、講演時には県外や医師など多くの方が参加しています。来年度も同様に年4回開催予定で、有意義な研究会になるよう企画予定であります。会員、非会員問わず多くの方の参加をお持ちしています。

【10月研究会風景】



第１回鹿児島乳腺画像研究会の報告

平成26年1月17日（金曜日）、鹿児島乳腺画像研究会を開催いたしました。技師会会員ほか、鹿児島市立病院外科の医師など、36名の参加でした。

第一回目にふさわしく、北九州市立医療センターの放射線科技師長の畑田俊和先生に「マンモグラフィの深化」と題して講演をしていただきました。

内容は、症例提示があり、マンモグラフィでは、難しい症例ばかりでありましたが、ルーチン２方向に、追加撮影をすることで、情報量の多い、画像が得られるという内容でした。

マンモグラフィで描出できなかった病変にたいして、単に乳腺超音波検査に、ゆだねることなく、諦めずに何か描出する方法がないかを考え、正常乳腺と、病変部周囲の関連性を導き出す撮影方法を導き出すことの重要さがよくわかりました。

雲の中を見るように、マンモグラフィは、乳腺内部のわずかな変化を見逃さないようにしなければなりませんが、本当に難しいと感じました。しかし、見方を変えて、白の中に病変部を見つけるのも重要ですが、黒の中に病変部を見つけ出すことも重要であると思いました。どういう意味かといいますと、乳腺内の情報と同じくらい、乳腺外の脂肪や皮膚、クーパー靭帯などの繊維組織の情報に気を配り、皮膚の引き込みはないか？皮膚への浸潤がないか？などの、乳腺外からの変化を読み取る力もつかなければならないということです。

また、病変が乳頭腫瘍線方向に進展している可能性がある場合、通常のMLO方向やML方向ではなく､乳腺との重なりが出来るだけ少なくなる方向を見出し、乳頭腫瘍線方向とほぼ平行な頭尾方向での撮影が有意義である。そのことで、背景となる乳腺、腫瘍の成長方向、圧迫力、圧迫中心など考慮する必要があります。

この講演により、マンモグラフィの深化とは、どういうことかがよくわかりました。これは、マンモグラフィだけでなく、すべての画像診断において、言えることだと思いました。また、診療放射線技師の仕事においても、プロ意識をもって、簡単にあきらめることなく、日常業務に取り組んでほしいという意味も含んでいると思われました。

本会は鹿児島県内の乳腺疾患に携わる会員はもちろん、医師、臨床検査技師、薬剤師といった医療従事者を対象に、乳房画像に関する講演、研究発表、知識の交換、情報の提供などを行うことにより、鹿児島県内における相互のレベル向上をはかることを目的としています。

また、誰よりも後輩を大事にし、誰よりも勉強熱心な、今は亡き、小林保浩さんの意思を引き継げるような研究会にしたいと思っています。

今後、様々な企画を考え、超音波や乳腺MRI、病理画像など盛り込んだ魅力ある研究会を展開しようと思っていますので、乞うご期待ください。

皆さんの参加をお待ちしています。

また、研究会では、ご意見をお待ちしています。今後の運営方法や、研究会の案内など、下記メールアドレスまでご連絡下さい。

鹿児島市立病院　隈　浩司
E.mail：kuma_kch@yahoo.co.jp

平成25年度　第3回 公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会理事会　議事録

期日：平成２５年10月5日（土）　15時00分～18時30分
場所：鹿児島大学病院　３Fカンファレンス室
出席者理事：池田睦　新村栄次　大久保光男　藤﨑拓郎　中島祐二　原口誠　平田勝
佐藤洋一　藤坂智史　齊藤二郎　瀬戸和人　藤﨑誠　坂下周一郎
田畑一文　島児末治　野中康博　岡野三男　坂口右己（代理）鮫嶋宗俊
欠席者　：石本裕二
議事録署名人：　池田　睦　鮫嶋宗俊

池田：理事会の規定で過半数以上の出席がありますので、理事会を開催します。

議題１．第2回常務理事会（平成25年8月7日）での審議事項の提示

池田：定款の３４条第４項に記載されていますので、第２回常務理事会で決まったことを第３回理事会で承認を受けないといけないので、第２回の常務理事会の議事録をご覧ください。(別紙)
最初に報告事項を行っています。
各種規定について、構成のお願いをする予定ですので、その時はお願いします。
次に選挙管理員が今回新しく、永田さん、新留さん、大園さんに決まりました。前選挙管理員の瀬戸さんと大迫さんには次回の総会で感謝状を贈る予定なので、理事会でもご了承をしていただきたいと思います
現在表彰委員会を５人で行っていますが、前会長の西本さん小川さんを入れたいと思いますので、了承をお願いします。
次に総会準備委員を藤坂さんのほうで人選を決めてもらいます。
各管理支部会・各研究会の代表世話人を決めていますので資料のほうを確認してください（別紙）

池田：７番目の研究会が発足する予定です。一般撮影の研究会を今村分院の馬場さんを中心に立ち上げる予定です。(別紙)

池田：各種委員会の委員長が記載されています。
編集委員長を斎藤さんにお願いしたいと思います。
関連団体交流委員会は現在委員がいませんので、今後検討していきます。
選挙管理委員会は永田さん新留さん大園さんで
表彰委員会には西本さんと小川さんに参加してもらっています。
組織委員会は特に活動を行っていないので今後検討していく予定です。
総会準備委員会は藤坂さんにお願いします
環境測定委員会を藤﨑（拓）さんにお願いします。
学術委員も新村理事に人選をお願いします。
原子力防災支援及び大災害医療支援体制構築委員会の委員長を大久保理事に、委員に変更がありますが議事録に記載されていますので確認をお願いします。

議題２．講演会・研修会・地域研修会について

池田：議題２の非会員の５００円徴収範囲について、詳細を決めたいと思います。
　今まで研修会では非会員のみ５００円を徴収していましたが、学生やメーカーからの徴収はどうしますか？
　学生からの徴収は行わないという事でいいですか？何か意見のある方はお願いします。
意見無し
池田：では、学生は無料という事で了承をしていただける方は挙手をお願いします。
全員挙手
池田：ありがとうございます。学生からは徴収しないこととします。
　次に、メーカーからの徴収について、徴収する場合領収書を発行する必要がありますが、研修会でも徴収していないようですがどうしますか？各地域はどうですか？
島児：大隅地域は取っていません
野中：南薩も取っていません
岡野：北薩も取っていません
坂下：鹿児島も取っていません
池田：財務的にはどうですか？
池田：各地域研修会は取っていないようですが、各研究会はどうですか？
新村：CT 研究会は取っていません。
藤﨑（拓）：MRI 研究会は取っています。
池田：消化管研究会・治療研究会はどうですか？
　各研究会で差があるようですが、まずは、地域研修会では取らない方向でいいですか？賛成の方は挙手をお願いします。
全員挙手
池田：研究会に関しては、世話人担当の方が来てから検討したいと思います。
藤﨑（拓）：MRI 研究会は今まで県技師会の補助がなかったのでメーカーからも徴収していました。
大久保：メーカー講演の場合でも付き添いの方からも徴収するのですか？研究会も統一した方がいいのではないか？
池田：研修会・研究会もメーカーからとらない方向でいいですか？
　何か意見のある方はお願いします。
意見無し
池田：では、メーカーからは徴収しないという事で了承をしていただける方は挙手をお願いします。
全員挙手
池田：理事会で決定したことは、各研究会への世話人の方へ会長のほうから連絡したいと思います
島児：開催施設の医療職員はどうしますか？
池田：開催施設には場所の提供でお世話になっているので、徴収しなくていいと思います。
　それ以外の、非会員とその他の職種からは５００円徴収することにします。

池田：講師への謝礼金について、規定の中で謝礼規定があります、資料をご覧ください。
（別紙）

中島理事より。資料の説明

池田：これによるとメーカーの講師への謝礼金が発生しますが、今まで各地域研修会ではどうでしたか？

坂下：鹿児島地域ではお金としては渡していません。お菓子を渡したことは有りますが謝礼金は払ったことはありません。

島児：大隅も同じです

野中：南薩も同じです。

岡野：北薩は払ったことがありますが、後の懇親会で使ってくださいと返却されました。

坂口：霧島もお茶やお菓子を渡していました

田畑：大島も今まで払っていませんし、メーカー側としても宣伝にもなるので、謝礼金としては払っていません

池田：規定では、メーカーへの謝礼金が発生しますが。財務はどうですか

中島：メーカーに関しては各地域に任せますが、メーカー以外では規定に沿ってしてほしいです。

池田：機器メーカー以外の講演、例えば特別講演などの講師には謝礼金は発生すると思いますが、他に何か意見はありますか？

原口：今のままでいいのではないですか。細かく決めるとそれに縛られてしまいます。

池田：シンポジウムで会員のシンポジストに対しては、どうしますか

島児：大隅支部では交通費がかかるのでその分も合わせては渡しています。

池田：細かく決めると大変になります。
ある程度規定を作成し、あとは地域理事や世話人の裁量でやっていくのはどうでしょう。財務としてはどうでしょうか？

中島：地域研修会でも３０００円くらいの謝礼金が発生してもいいと思います。時間によって割合を決めていってもいいと思います。

池田：報酬規定はそのままにして、後は時間の割合で決めていくことでいいですか。

坂下：座長や司会は？

池田：県の総会の司会には２０００円出しています。

島児：大隅地域では座長や司会には渡していません

池田：決めていたほうがいいですよね。

島児：財源的にはどうですか

池田：県の総会と学術は別として、各地域の研修会・研究会での座長や司会への謝礼金はなくてもいいのではないか。学会では座長や司会は個人のスキルアップということで渡していません。

原口：公益法人が、内部で報酬を払いあうのはおかしくないか。

鮫嶋：座長などは、会員であれば必要ないのではないか

池田：会員であれば、座長と司会は謝礼なしでもいいですか。
総会も同じでいいですか。
シンポジストも会員であれば謝礼なしでもいいですか

全員了承

島児：地域で交通費がかかる場合はどうなりますか。

中島：それに関しては、交通費として支給します。

池田：研修会のお茶、垂れ幕について

お茶については事後清算になるがいいですか。

垂れ幕については、大隅は作りますが、他の地域は作りますか？

野中：垂れ幕であればいいのですが

藤坂：印刷屋に見積もりをお願いしました。

垂れ幕で、第何回というところは空欄で、１６８００円でした。

全地域このような形で発注してもいいですか。横４０センチ縦１９０センチ

池田：垂れ幕についてはまとめて総務で作成することにします。

池田：研究会の垂れ幕はどうしますか？

継続事項ということで検討します。

池田：プログラムの印刷はどうしていますか？

どの地域でも作っていますよね

島児：大隅では機械があったので作っています。費用は病院もちでした。

田畑：達筆な人に頼んで、謝礼として２０００円払っていました。会費をいただいていたのでそこから捻出していました

池田：業者に依頼する場合は、領収書を貰ってください。できればボランティアでお願いします。

島児：CT 研究会はメーカー共催ということで、公益法人として問題はないのですか？

新村：お金を貰ってはいません。技師の発表には技師会の補助から謝礼を払っています。

中島：問題があるかどうかについては解りません。監査で指摘されればやめなければならないでしょう。

現時点ではわかりません

池田：県の監査は１～２年後にありますが、指摘があれば変えないといけませんが、それまで待ちましょう。

議題３．技師会ホームページの充実について

池田：次に議題３のホームページ（HP）について、鹿児島県放射線技師会の HP の充実を図っていきたいと思っていますが、現在は掲示板方式でしていますが、他の県と比較してどのようなことができるのか、原口さんお願いします。

原口：他の HP と同じ様なことはできるが載せるコンテンツがないので、載せてほしいことがあれば載せるのは可能です。デザインは自由に変えられます。

池田：現在 HP に定款と理事の名前を載せていますが、諸規定も載せておきたいと思っています。会員への入退会の方法なども載せていきたい。また、一般の方に対す

る放射線に関する啓発等も載せていきたい。

他の県のホームページも参考にして HP の充実を図ってもらいたい。

現在原口さんだけで行っているが他の理事も一緒にやってもらいたい。

何か意見はありますか？

新村：原口さんの下に何人か付けてやっていくのはどうか？
島児：現在は会長の了承のもと載せているが、地域性を出すために地域の情報も載せるようにできないか？どの辺まで載せていいのか線引きをしてもらいたい。
池田：理事の役割を、原口さんと平田さん斎藤さんで役割案を出して下さい。
藤崎（拓）：福岡県のHPを参考にすればいいのではないか？環境測定などの募集も載せたい
池田：できれば求人情報も載せたい、県の医師会会報には技師の求人情報も載っている。できればそことリンクできないか
原口：各地域がFBのページを作成し、リンク先をHPにした方がいいのではないか？
坂口：霧島地域では、診療放射線技師会霧島姶良地域クリニックという名称でFBを立ち上げて、小浜さんを中心に活動をしている。管理者名は平賀さんです。
原口：FBはオープンで、誰でも見ることができる。
島児：地域はFBに対する規定はどうするか
原口：一般的なことであれば問題ないと思います。
坂口：勉強会の案内などを載せています。
池田：緊急連絡網にも関連してきますが、緊急連絡をする際にFBを利用するといいのではないかと思う。各地域には連絡網の整理をお願いしていますが
池田：HPを充実させるために、原口さん平田さん斎藤さん検討をお願いします。

議題４．技師会連絡網の整備

池田：次に、議題４の技師会連絡網の整備について
技師会記念誌を参考にして作成しています。
大島地域に種屋久は、入っていませんけどいいですか？
田畑：種屋久地域は交通の便から見れば鹿児島地域にいれた方がいいと思います。
池田：以前は種屋久は大島支部にありましたが、鹿児島地域に種屋久を入れてもいいですか。鹿児島地域は、病院の代表の人の氏名と連絡先の確認をしてください。
野中：南薩は代表者を各施設の技師長の名前にしています。携帯も多いです。
施設名、代表電話番号、所属技師数、登録技師数のみ掲載して連絡網を作成している。
池田：個人情報の取り扱いも注意しなければならない
池田：大分はメーリングリストをしている。できればHPでもできるか検討をお願いします。
各地域の理事は連絡網の整備をお願いします。連絡網は規定集として載せますので、それぞれ連絡先の情報を載せていいか確認を取ってください。
藤坂：会員の方で病院に所属していない人はどうしますか？退職者など。
池田：とりあえずは、病院名と連絡先・代表者名を確認して、連絡網の整備をお願いします。

議題５．平成２６年度春の叙勲推薦者の繰り越し（秋に推薦）

池田：議題５にいきます。２６年の春の叙勲推薦者依頼について、県の方から依頼がありましたが、今回は見送りました。一昨年表彰委員会を行いまして、２６年の秋は西本孝市さんを推薦したいと思

います。西本さんの後の叙勲推薦者の選出について表彰委員会を行いたいのですが、大久保さんいつがいいですか？

大久保：日程を決めてください

池田：では日程を決めて、連絡します。

池田：では議題５の表彰・叙勲についてですが、何か質問はありませんか？

島児：公益法人の祝賀会について、延期になっていましたがどうなっていますか？

池田：祝賀会を開催している県としていない県がありますが、平成２５年度の事業計画で載せているのでしないといけないと思いますが、どうしますか？

大久保：しないと事業に支障があるような内容でないのでいいのではないか？

鮫嶋：公益団体として、県内の団体にアピールする機会でもあります。開催しない場合は会員への報告を行った方がいいと思います。

池田：諸規定がまだできていないのでそれらが整備されてからがいいと思いますが、まだ目途が立っていない状況です。

鮫嶋：５年後ぐらいに、７０周年になりますがそれに合わせてしてもいいのではないか？

池田：また検討させてください。

議題６．各種規定の校正について

池田：各種規定について

１から２２までありますが、ほとんど作成していますが、

１５番の情報公開規定を作らないといけません。

１６・１７番の経理規定・会計処理規定を財務の中島さんお願いします。

１８番のセクシャルハラスメント防止等に関する規定も作成予定です

１９番の入退会申込書案内を藤坂理事お願いします

２０・２１番の倫理規定・慶弔規定も考えているところです。

２２番の原子力防災支援及び大災害医療支援体制も作成してあります。

各規定を各理事に構成をお願いする予定です。

常務理事会の議事録の内容も確認をお願いします。

報告事項

１．全国会長会議報

池田：次は報告事項に行きたいと思います。

池田：全国会長会議の報告を行います。(別紙)

会員の動向が議題の中心で、２４年度と２５年度の会員数を見てみると若干しか増えていません。

全国の専門機関から年間２０００人程度卒業生がいるが、入会は７６０名程度なので入会の勧誘、

５０歳以上の退会者も多いので、退会者が増えないようにしないといけない。

５３歳・５８歳・６６歳で会員数が大きく減少しています。会費等納入規定第２章８条にあるように、終身免除規定を会員に広報して退会者の減少を図る必要がある。

また、６０歳以上の方の会費減額の検討をしている。技術学会は６５歳以上の会費減額を行ってい

るので、JART も対策として、会費減額を行い退会者の減少また、新規入会者の努力をお願いします
とのことです。
第１２回のチーム医療推進工作検討ワーキンググループにて、検診車の医師不在問題
照射録の意思署名の問題など議題にあげています。
　新情報システムの進捗状況。来年の１月にデータを更新するので、E ランニングが止まる予定です。
全国的に会費納入問題が起きているみたいです。県内でも会費納入に関する問題がありましたら、
直接 JART へ問い合わすよう広報してください
　来年の第３０回日本放射線技師が大分県別府市で行われます。鹿児島県の HP にも載せてあります
ので確認をお願いします。
第３１回は京都で行われます。
　参議院選挙報告。九州地域では鹿児島県は投票率が高かったので高い評価
を得ました。３年後に選挙がありますが、診療放射線技師が国政に出ていかないと待遇改善等が進
　んでいかないので、技師連盟を中心に活動していきましょう。

２．各常務理事業務状況報告

池田：次は各常務理事の業務執行報告です。
　定款で定められていますので、6 月 22 日第 2 回理事会以降の報告をお願いします。
池田会長報告
6月28日（金）第1回九州放射線技師研修会出席、挨拶。
　畦元氏講演会、囲む会出席。
7月６日（土）リーダー研修会座長。7月6日（土）冨吉氏叙勲祝賀会出席。
7月16日（火）、17日（水）両日の午後より事務所にて畦元氏選挙関連電話掛け。
7月24日（水）第19回乳がん検診学会案内の発信。
7月25日、26日　中澤会長来鹿。空港迎え後、懇親会。26日は鹿児島医療技術専門学校大学化のお願い。
7月29日（月）ＪＡＲＴ会費滞納者の会員への通達。
7月31日（水）医療機器安全管理研修会2013案内。
8月１日（木）照射録医師署名の問題情報発信。
8月３日（土）超音波研究会挨拶。
8月７日（水）常務理事会（技師会事務所）資料作成準備。
8月19日（月）事務所当番。
8月21日（水）原子力防災訓練全体会議　防災訓練参加人員の募集案内。
9月７日（土）第2回九州地域放射線技師研修会（福岡）出席、挨拶。
9月９日（月）疑義照会施設のＪＡＲＴ村上理事への連絡。
9月13日（金）第30回診療放射線技師学術大会（大分）の案内発信。
9月19日（木）ピンクリボン2013の案内。
9月21日（土）、22日（日）第29回診療放射線技師学術大会（島根）出席。会長会議出席（21日）。
9月24日（火）鹿児島県診療放射線技師会会員連絡網整備のための会員リスト発送。
　会員リスト作成は藤坂総務理事。

平成25年秋の叙勲関係打合せ（県福祉課総務係）。
9月25日（水）原子力防災訓練鹿児島県診療放射線技師会の不参加の連絡。
9月27日（金）　原子力防災訓練打合せ会出席（診療放射線技師会の参考として）。
情報伝達訓練も今回は無いとの事。
平成25年秋の叙勲関係打合せ（県福祉課総務係）。叙勲本人。
9月28日（土）　南薩支部研修会挨拶。

新村副会長報告
6月24日（月）　技師会事務所当番
7月6日（土）　リーダー研修会、冨吉氏祝賀会
7月9日（火）　あぜもとしょうご氏を囲む会
7月11日（木）　女性の会第1回運営委員会
7月12日（金）　市民健康祭り実行委員会
7月25日（木）　中澤会長会食
8月9日（金）　市民健康祭り実行委員会
8月23日（金）　技師会事務所当番
9月7日（土）　大隅支部研修会
9月24日（月）　技師会事務所当番
9月28日（土）　南薩支部研修会

大久保理事報告
7月6日（土）　リーダー研修会出席　　　　（パレスイン鹿児島）
8月27日（火）　県技師会事務所事務処理9月26日（木）　県技師会事務所事務処理
9月28日（土）　南薩第27回地域研修会出席（加世田病院）

藤坂理事報告
6月　　新理事就任承諾書作成
総会議事録作成
冨吉先生祝賀会の準備
技師連盟の入会案内の宛先作成　畦サポータ宛先作成
リーダー研修会計画
役員変更登記
7月　　ＪＡＲＴ理事への弔電
加世田病院使用許可送付
法務局へ登記
祝賀会の打ち合わせ
リーダー研修会と祝賀会及び報告書作成
事務所当番表の作成

県会員へ弔電と花の手配
法務局で登記事項証明書
祝賀会集合写真の注文、名刺の注文
新理事の依頼状、お願い状、委嘱状
名刺の送付
県への事業報告

８月　ＪＡＲＴ会費滞納者２５人に電話
常務理事会
理事会議事録の修正
８０才以上の会員の在籍調べ
新入会員の承認
会報原稿作成

９月　会報の校正　会員宛先作成　印刷依頼
３０年表彰候補者の検索
全国大会へ焼酎の発送
入退会規定作成
県技師会員の地域分け

１０月　世話人４２名の委嘱状、依頼状、お願い状の作成

*その他、事務所当番、電話・メールの応対多数。

中島理事報告

上半期の領収証整理と財務整理
中間会計監査に向けての資料作り
会員の会費納入状況調査
会報掲載広告費請求と納入状況の整理

原口理事報告

ホームページのメンテナンスを実施
リンクの作成
日本診療放射線技師会、第29回全国学術大会、第8回九州放射線医療技術学術大会、
女性の集い
問合せメールフォームの作成
第30回全国大会の案内ページの作成。

なお、Facebook（FB）のページ作成については、地域理事のご意見もありましたので、理事会での議論を経てから着手したいと考えます。

平田理事報告

7月の冨吉氏祝賀会、写真編集を行っています。秋の会報を9月に発刊しました。

急病センター関係では、
7月6日土曜日、平成25年度急病センター第1回研修会としてリーダー研修会へ16名が参加しました。
11 月には急病センター今年度第 2 回研修会を予定しています。現在、講師の先生に依頼を掛けているところです。

藤﨑（拓）理事報告

6月11日　技師会事務所当番
7月6日　リーダー研修会及び冨吉氏叙勲祝賀会　準備参加
7月9日　畦元将吾氏の個人演説会　参加
7月20日　第3回医療画像システム研究会及び医療画像情報精度管理士部会
準備参加
7月22日　技師会事務所当番
8月3日　第1回鹿児島超音波研究会　参加
8月4日　静脈注射（針刺しは除く）講習会　準備開催終了処理
8月31日　技師会事務所当番
9月7日　第1回九州地域放射線技師会学術委員会及び第2回研修会（福岡県）　準備参加
10月10日　技師会事務所当番

その他　研究会、研修会のＪＡＲＴへのポイント申請及び報告
環境測定結果整理と発送
配布用 noteＰＣの準備及び設定

佐藤理事

6月　第1回理事会議事録作成
7月　リーダー研修会参加
8月　事務所当番
第2回常務理事会議事録作成
9月　事務所当番
南薩地域研修会参加

池田：次回からは箇条書きにして一覧にしたいと思います。

3．永年勤続３０年表彰推薦者について
鹿児島県診療放射線技師会の推薦者

池田：次に永続勤務表彰について（別紙6参照）
永年勤続３０年表彰について、県内の３０年勤続表彰該当者で表彰を受けていない方が８０名近くいました。会報にもリストを載せて、推薦をお願いしていたところ、９名の方から申し出がありました。JART の規定により９名の方は３０年永続勤務表彰に該当します。期限が１１月１９日です。

まだ表彰候補者が多数いますのでご連絡をお願いします。推薦された方は履歴書を書いてもらっています。学術大会の場で表彰予定です。今回の推薦された方は、来年の大分の大会で表彰される予定です。旅費等は出ませんがよろしくお願いします。

３０年永続勤務表彰について何か質問はありませんか？

島児：該当者は履歴書を書いて、JART に送りますか？それとも県の会長へ送りますか。

池田：県の会長の推薦状もいりますので、県のほうでまとめて送付します。会長のほうへ送付してください。

４．超音波研究会

５．大隅地域研修会

６．南薩地域研修会

池田：超音波研究会の報告は世話人がいないので今度にします。
大隅地域研修会を島児理事お願いします。

島児：参加者が３４名、講演内容の充実した研修会でした。

池田：総務のほうに研修会報告書をお願いします。

島児：書式等ありますか

池田：書式は特にありません。各地域で作ったものでいいです。
次に南薩地域研修会の報告をお願いします。

野中：先週加世田病院で研修会を行いました。報告書は送ってあります。
報告書に非会員の名前を載せていましたが、県の指導ではぶきました。

池田：会報にも載るので非会員の名前ははぶきましょう。

野中：参加者は３７名、非会員の参加費は５００円徴収し、財務に渡してあります。

池田：ほかの地域はどうですか？

田畑：大島地域の研修会は２月の第１週の土曜日に開催予定です

岡野：北薩地域は１１月９日に開催予定です。

坂口：霧島地域は１１月１６日にあります。

池田：霧島地域研修会は、県の秋季学術大会を兼ねています。坂下啓二先生が来られて技師の一次読影補助の講演があります。坂下 JART の読影分科会の監事もされていますので沢山の参加をお願いします。

坂口：一般演題の集まりが悪いので、後２題ほどお願いしたいので、よろしくお願いします。シンポジウムでの座長を霧島地域の平賀とあと一人、県の方からお願いしたいのですが、

池田：誰かいませんか

瀬戸：私がやりましょうか

池田：お願いします。

瀬戸：坂口さん詳細をお願いします。

池田：坂下先生と話をしたい方はぜひ参加してください。
坂下先生は救急撮影の代表世話人でもあります。

坂口：一般演題の座長は霧島地域で決めてもいいですか。

池田：なるべく若い人でお願いします。

７．九州地域放射線技師会報告

池田：第２回の九州地域放射線技師会報告をします。

私と中島・藤﨑（拓）・藤坂で参加してきました。野口さんの講演は内容の深いものでした。講演内容のCDをいただいたので、各地域の理事さんにお渡ししますので、各地域の会員の方で希望される方には見せてください。

池田：HPでのダウンロードとかは可能ですか？

原口：可能ではあります。誰でもできます。

藤﨑（拓）：案内だけして、希望者には送付する方がいいのではないか。

池田：地域理事にマスターがあるので、希望される方は各地域の理事さんへ連絡してくださいという案内にします。

池田HPで会員専用のページは作れるのか？

原口：可能でありますが、公開が基本となっています。会員専用のページもありますが、誰でも見る事ができるHPが多いです。

池田：また、検討していきたいと思います。

瀬戸：JARTから疑義紹介の件についてどうなっていますか？他に資料が来ますか？

池田：もう始めてください、資料は添付してあったと思います。期間は３～６ヶ月の期間でお願いします。

８．その他

池田：その他に何かありませんか？

藤﨑（拓）：学術からの報告です。９月に九州地域放射線技師会がありましたので報告します。

九州地域放射線技術学会が佐賀で行われます。演題を理事の皆さんに送りますので優秀演題の選出をお願いします。選出規定がありますので一緒に送ります。座長の選出を行いました、X線検査が市立病院の永田さん、放射線治療が相良病院の大迫さん、CTが大学病院の中島さん、核医学が今給黎病院の飯伏さん画像工学その他で相良パース通りクリニックの大迫さん逓信病院の新留さんにお願いしています

１２月１日に一般講習の基礎講習を予定しています。講師がまだ決まっていない状態です。もしかしたら延期するかもしれません。

研究会企画についてです。九州地域放射線の第３回の研修会の内容について協議してきました。内容は一次読影の現状についてシンポジウムを予定しています。再来年は鹿児島で開催予定

８月に抜針講習会を実施しました。参加者３２名でした

健康祭りのポスターと申込み用紙が来ていますので各病院で提示できればよろしくお願いします。

JARTへのカウントの申請について、研修会の開催前に藤﨑（拓）までお願いします。

技師会のPCについて、ウイルスソフトが入っていない場合は持ってきてください。１週間ほど預かります。メーカー便でお願いします。ポインターは買ってありますのでしばらくお待ちください。

池田：優秀賞の鹿児島からの演題は何題ありましたか？

藤﨑（拓）：３０題あります。

池田：来週の月曜日に演題の抄録リストを送りますので１～２題優秀演題を選んでください。

池田：それと今年の市民健康祭りは講演会のみです。ブースは出しません。

新村：JAXA の先生と順天堂大学の先生の講演になります。講演を希望される方はハガキによる申込みなので各自お願いします。また、参加できますのでよろしくお願いします。

場所は宝山ホールです。アナウンスをお願いします。

池田：仕事紹介のパンフレットが来ていますので、それぞれ２０～３０部ずつ持って行っ持って行ってください。

藤坂：坂本事務所の件ですが、玄関にセンサーライトを設置したいと思います。エアコンはどうしますか？

池田：玄関は暗いので人感センサーライトをつけたいと思います。エアコンも付け替えていいですか？

来年度の事業予定に入れてください。

藤﨑（拓）：来年の３月くらいにレントゲン週間を開催します。企画がピンクリボンとの共催と高校生を対象にした職業説明会を他のコメディカルと行う予定です。他に何かありましたら連絡ください。

池田：レントゲン週間のイベントですのでレントゲンに関することでしたらいいと思います。一般の参加者が減っていますが、コマーシャル不足があると負います。

次回理事会は３ヶ月後なので１月に開催します。

池田：他になにかありませんか？

何もなし

○閉会

池田：ではこれで第３回　理事会を閉会します。

以上ですべての審議を終了した。

定款第 38 条 2 項に沿って、出席した会長及び監事が記名押印する。

平成 25 年 10 月 15 日

会　　長　　　　　　　　池田　睦

議事録作成　　　　　　　　藤坂　智史

この議事録は原本と相違ありません

平成25年10月15日

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会

会　長　　　　　　　　　　池田　睦

第3回 公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会　常務理事会　議事録

期日：平成25年10月30日（水）18時30分～
場所：鹿児島県診療放射線技師会事務所
出席者理事：池田睦　新村栄次　大久保光男　藤﨑拓郎　中島祐二　佐藤洋一　藤坂智史　齊藤二郎
瀬戸和人　藤﨑誠
欠席者　　：石本裕二　平田勝　原口誠　鮫嶋宗俊
議事録署名人：　池田　睦

池田：それでは常務理事の過半数の出席がありますので、第3回の常務理事会を開催したいと思います。

議題

1．地域研修会参加理事

①北薩地域研修会　11月9日（土）15時～　　済生会川内病院

池田：北薩の地域研修会が川内済生会病院で11月9日に開催されます。いかれる理事の方を決めたいと思います。どなたか参加されませんか？
大久保理事　挙手
新村理事　挙手
池田：ありがとうございます。北薩地域研修会は新村理事・大久保理事にお願いします。新村理事挨拶をお願いします

②平成25年度鹿児島県診療放射線技師会秋季学術大会
霧島・姶良地域
11月16日（土）15時～18時30分
11月15日（金）　坂下恵治先生歓迎会

池田：16日に霧島姶良地域研修会があります。私も行きますが
技師の読影に関して講演があります。シンポジウムもそれに合わせて付随した一次読影に関するシンポジウムで理事の方も多数参加お願いします。
前日に坂下先生を囲む会を行いますが、私は出席しますが、どなたか参加される方はいませんか？
新村理事　挙手
藤崎(拓)理事　挙手
池田：藤崎（拓）さんへ依頼状をお願いしていますけど、いいですか
藤崎（拓）：大丈夫です。
池田：中島さん旅費・講演料はどうなっていますか？報酬規定がありましたが、旅費・宿泊費・講演料大丈夫ですか。
中島：どこから来られるのですか？
池田：大阪です。囲む会での坂下先生への料金を県技師会でお願いします。囲む会での領収書等お金の

件は藤崎（拓）さんお願いします。

坂下先生は講演会の後は途中で帰られるので、謝礼金の受け渡しはどうしますか？

藤崎（拓）：当日でよくないですか？普通は当日の講演前に渡します。

坂下先生は空港から会場までの交通手段にレンタカーを借りようとしていましたが、事故等があってはいけないので、料金は県技師会の方で持ちますのでタクシーを使うようにお願いしました。

池田：旅費・宿泊費・講演料の件は中島さんにお願いします。瀬戸さんも参加しますよね。

瀬戸：座長をしますが、打ち合わせの連絡がないのですが当日ですかね？

池田：たぶん当日にあるので早めに行った方がいいと思います。

藤崎（拓）：一般演題が１題しか来ていないので、あと２題県技師会の方で準備しないといけないのですが、どこか施設でありませんか？

池田：佐賀の学会で出す施設はありませんか？

藤崎（誠）：南風は１人出します。

池田：お願いできませんか

藤崎(誠)：はい。

池田：市立病院は何かありませんか？

瀬戸：先週延期になった鹿児島地域研修会で１人発表する予定でしたが、あと自治体病院学会で発表した者がいますが、ポスター発表でした。

藤崎（拓）：是非、ポスターでも発表していただけると

瀬戸：本人に確認をしてみます。

藤崎（拓）：了承がもらえたら、氏名と演題名を教えてください。

池田：南風病院と市立病院から２題追加ということでいいですか。

瀬戸：本人の了承を取ってからでもいいですか？

藤崎(拓)：大学でもいいですけど、今週中に連絡ください。

霧島姶良地域研修会参加理事

瀬戸　藤崎(拓)　藤﨑(誠)　大久保　新村　池田　中島

２．　ＪＡＲＴ女性サミットへの鹿児島県からの推薦者（資料参照）

池田：JARTから女性サミットへの参加依頼がありましたが、松野下さんは運営委員になっていますので、鹿児島県女性技師の集いで話し合った結果、今給黎病院の丸尾さんを推薦してくださいということでした。いいですか

新村さんの方で、丸尾さんへ確認をお願いします。

JARTへ推薦状を書かなければならないので今週中に連絡をお願いします。

３．技師会連絡網の整備進捗状況（別紙参照）

池田：各地域の連絡網がきていますが、鹿児島地域は現在作成中であります。

これを一つにまとめて欲しいのですが、組織委員の佐藤さんお願いします。

各地域から来た連絡網で、組織名と代表者名が載っているのがあるのですが、個人情報に関するこ

となので、規定集に載せる際は、個人名ははぶいてもいいのではないかと思うのですが、

藤崎（拓）：連絡するときにわからなくなりませんか？

池田：これは地域の理事さんは把握しているので、規定集に載せる際には個人名まで載せなくてもいいのではないか？理事会では個人名まで把握してもいいですが、規定集に載せる場合は個人名はない方がいいので、これを佐藤さんの方でまとめてください。

佐藤：理事会用と規定集用を作成すればいいですね。いつまでですか？

池田：今年度中には規定集を完成させたいので、まだ、鹿児島地域の連絡網が出来上がっていませんがよろしくお願いします。

４．各種規定の校正について（別紙資料）

池田：現在13の規定を作成しましたが、各理事で分担をして校正をお願いします。担当を付けました、

表彰規定をメイン大久保さんで藤崎（誠）さん斉藤さん御願いします。

職務関係の規定を、新村さん藤崎（拓）さんお願いします。

定款が主になっています。定款の何条の何項かが間違っていないかを確認してください。

会費関係規定が中島さん原口さん平田さんで御願いします。

地域運営規定は、各地域理事に任せて、島児さんを中心にお願いしたいと思います。

役員選挙規定を瀬戸さんお願いします。

会員入退会規定は総務理事が作成したのがあるので、私のほうで確認したいと思います。

原子力災害規定は、藤坂さんと佐藤さんお願いします。

各既定の校正を今年度中にお願いします。

慶弔規定は今から作りますのでまたお願いします。

個人情報規定・ハラスメント規定がありますが

大久保：ハラスメント規定はいらないのではないか？

池田：検討させてください

池田：市民健康祭りの参加状況を新村さんお願いします

新村：先日リハーサルがありまして、１５００名の募集でしたがすでに定員に達しています。私と藤崎（拓）さんが出席しました。誘導係をします。会長は招待客になります。

新村：聞きに行きたい方がいましたら自由に入ることができますが、すでに定員に達していますので講演を聴くのは難しいと思います。

池田：１１月２日の何時からですか？

新村：14時からです。

藤崎（拓）：スタッフとして参加する理事の日当はでますか？

池田：中島さん、スタッフの新村さんと藤崎（拓）さんには日当は出ますか？

中島：去年も日当は出ているので、出ます。

池田：藤崎さんレントゲン集会はどうなっていますか？

藤崎（拓）：まだ、進めていませんが、３月のいつにしますか？

新村：１５日は女性の会があります。

池田：１１月初めに正式に発表はありますが、叙勲受章も決まりました。今回は技師会が推薦したので栫先生の叙勲祝賀会もしないといけません。レントゲン週間の後に祝賀会をするのはどうでしょう。

藤崎（拓）：レントゲン週間は原田学園との共済はよろしくないでよね？

池田：学校紹介だと良くないですよね。

大久保：３月８日はどうでしょう。

池田：場所はどうしますか？

池田：黎明館はどうですか？藤坂さん３月８日のあき状況を確認してください。

藤崎（拓）：高校生対象なので天文館に近い所いいのではないか。アイムビルやＮＣとか。

藤坂：レントゲン週間は何をするのですか？

藤崎（拓）：職種紹介をします。放射線技師・臨床検査技師・臨床工学技士、理学療法士・

池田：職種紹介なら、大学へお願いしてもいいのではないか

藤崎（拓）：理事からも講演をお願いしたいのでが、

池田：時間はどのくらいですか？

藤崎（拓）：2時間半くらいです。４職種で、

池田：JART の許可はおりそうですか？

藤崎（拓）：職種紹介ということで JART の許可取れると思います。

瀬戸：先日の JART の職種紹介パンフレットを参考に話をすれば良くないですか？

池田：藤崎（拓）さん話を進めていてください。

池田：栫先生には連絡します。

藤崎（拓）：理事の講演はどなたか

池田：新村さんお願いします。

池田：技師連盟より入会案内が来ていましたが、鹿児島県は 8 人、入会の案内をお願いします。メーカー便で資料を送りますのでお願いします。

池田：議題は以上です。
何か質問はありませんか

特になし

報告事項

１．永年勤続３０年表彰推薦者について
鹿児島県診療放射線技師会の推薦者（別紙資料）

池田：現在 10 名の申し入れがありましたが、他にいませんか？
11 月２９日までに JART に申請をしないといけないので、履歴書もまだ２人分しか来ていません。
理事にも該当者は数名いますので是非申し入れをお願いします。記念品が貰える予定です。

夜間急病センターの研修会

池田：11月29日鹿児島医療センターの救急部の先生に救急に関するレクチャーをしていただきます。興味のある方は参加可能です

25年秋の叙勲について

池田：栫先生の受賞が正式に決まりましたので、祝賀会についても栫先生と話をしていきたいと思います

池田：技師会のＨＰについても更新をお願いします。

藤坂：原口さんより報告がありまして、ＨＰのＦＢアカウントを取得しましたとの報告ありました。

池田：10月25日　に低線量地域肺癌研修会が、医師会館で開催されましたが何方か参加された方はいますか？

新村：内容は、今までのデーターの発表と鐘付先生がどういうことをやっているのかの発表でした。いつもよりは少ないでした。

藤崎（誠）：２９日に消化管研究会があり４０名ぐらいの参加で、画像の見方と撮影のポイント、症例討論などでした。

池田：その他にありませんか

佐藤：議事録を作成するにあたり、音声入力ソフトの購入をお願いしたいのですが、どなたか詳しい方はいませんか？

藤崎（拓）：ＩＣレコーダーはどうですか？

大久保：会長の座る位置を中央にするのは

池田：マイクを使用するのはどうですか？マイクの声はＩＣレコーダーにもよく入りやすいです。

中島：マイクとスピーカーはあります。

佐藤：会議時間も長く議事内容も多いのでソフトの購入をお願いします。

池田：音声入力ソフトを購入する方向で中島さんお願いします。

藤坂：前回の理事会の議事録で聞こえない所もありましたので、発言された方は修正をお願いします。

池田：議事録は誰が発言したか、詳細も問われます。また、監査では出席している理事全員の発言があるかも見られます。

池田：その他にありませんか

藤崎（拓）：佐賀である優秀賞について、平賀地域理事への推薦が来ています。学術と会長は返事をお願いします。返事がない場合は学術一任でいいですか。

池田：メールを確認してみます。

藤崎（拓）：疑義紹介についてはどうしていますか？始めていますか？

斎藤：始めています。一般撮影を中心にシートに入力しています。

藤崎（拓）：目的は技師のオーダーに対する貢献度を把握するために行っています。

瀬戸：当院のＭＲＩ部門では１ヶ月で１０件程度でした。

新村：調査期間は３ヶ月くらいですよね

池田：疑義紹介の調査の件お願いします。
池田：他にありませんか。
藤崎（拓）：基礎講座を 12 月 1 日に予定していましたが、講師の都合がつかなかったので延期にします
　２・３月に開催しようと思っています
池田：他にありませんか。
池田：1 月 18 日に第 1 回の一般撮影の研究会が今村分院でありますのでよろしくお願いします。
池田：他にありませんか。
池田：理事会は３月位に行う予定ですが、大島はWeb会議にしたいので、中島さん調整をお願いします。
池田：次回は新年会を兼ねて 1 月 17 日に常務理事会を開催します。
　場所を藤坂さんお願いします。

○閉会
池田：以上で第３回　常務理事会を閉会します。

以上ですべての審議を終了した。
定款第 38 条 2 項に沿って、出席した会長及び監事が記名押印する。

平成 25 年 11 月 4 日

会　　長　　　　　　池田　睦

議事録作成　　　　　藤坂　智史

この議事録は原本と相違ありません

平成 25 年 11 月 4 日

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会

会　　長　　　　　　池田　睦

会費納入について

納入方法および納入期限について

鹿児島県診療放射線技師会会費は平成 25 年度より日本診療放射線技師会会費との合算請求となりました。

県単独での会費徴収は行っておりません、日本診療放射線技師会会費の収納代行業者である
SMBC ファイナンスサービスより払込票が発送されています。
請求書には SMBC ファイナンスと記されておりますが、本会からの請求となります。
日本診療放射線技師会より会費請求書が届いていない方はご一報ください。

職場でまとめてお支払いを希望される場合や払込票を紛失された会員の方はお手数をおかけいたしますが、日本診療放射線技師会事務局までご連絡ください。

会費納入期限は日本診療放射線技師会および鹿児島県診療放射線技師会会費納入規定により当該年度の9 月 30 日までとなっています。

但し、新入会および年度途中の入会者についてはこの限りではありません。

お問い合わせ先: 鹿児島大学病院　中島まで　　電話: 099(275)5664

編　集　後　記

公益法人になり一年となりました。規定が厳しく戸惑う事もありましたが、なれる事が出来ました。今年はソチオリンピックやサッカーワールドカップが行われます。若い才能のある選手の活躍が楽しみです。

漏洩線量測定事業のご案内

（公社）鹿児島県診療放射線技師会では、放射線を取扱う専門職として資格を有する団体の一般社会への利益還元事業と公益事業の一環として、放射線安全管理の啓蒙を兼ねた環境測定事業を行っています。基本的には、該当施設会員と放射線管理士部会からの派遣会員の２名で実施する予定です。

料金は、会員がいる施設が、基本料金２万円＋測定料１方向５千円（その他の施設は基本料金４万円、ただし、歯科医院等の場合は、基本料金は２万円）となっています。

測定希望の施設がありましたら、見積等をご提示しますので、下記へお問い合わせ下さい。

（公社）鹿児島県診療放射線技師会事務局　鹿児島大学病院　臨床技術部放射線部門
（０９９－２７５－５６６４）　放射線管理士部会　担当　藤﨑

理事・監事

役職名	氏名	勤務先施設名	勤務先電話番号
会長	池田　睦	鹿児島大学病院	099-275-5664
副会長	新村　栄次	今給黎総合病院	099-226-2211
監事	西元　広男		
監事	鮫嶋　宗俊		
表彰理事	大久保　光男	川内市医師会立市民病院	0996-22-1111
学術理事	藤﨑　拓郎	鹿児島大学病院	099-275-5664
学術理事	石本　裕二	公益財団法人福岡県すこやか健康事業団総合健診センター	0942-35-8195
財務理事	中島　祐二	鹿児島大学病院	099-275-5664
福利厚生理事	原口　誠	JA厚生連健康管理センター	099-256-1133
編集・広報理事	平田　勝	鹿児島市医師会病院	099-254-1125
組織理事	佐藤　洋一	鹿児島市立病院	099-224-2101
総務理事	藤坂　智史	鹿児島大学病院	099-275-5664
鹿児島地域理事	坂下　周一郎	鹿児島大学病院	099-275-5664
北薩地域理事	岡野　三男	丸田病院	0996-32-2263
霧島・姶良地域理事	平賀　真雄	霧島市立医師会医療センター	0995-42-1171
大隅地域理事	島児　末治	垂水市立医療センター垂水中央病院	0994-32-5211
大島地域理事	田畑　一文	鹿児島県立大島病院	0997-52-3611
南薩地域理事	野中　康博	医療法人　菊野会　菊野病院	0993-56-1135
理事	瀬戸　和人	鹿児島市立病院	099-224-2101
理事	齊藤　二郎	鹿児島市医師会病院	099-254-1125
理事	藤﨑　誠	鹿児島共済会南風病院	099-226-9111

広告掲載一覧（順不同）

会社名	郵便番号	住所	電話番号
安西メディカル株式会社	141-0033	東京都品川区西品川3-6-25	03-3779-1611
バイエル薬品株式会社	892-0847	鹿児島市西千石町11-25 鹿児島フコク生命高見馬場ビル２F	099-805-2536
富士フイルムRIファーマ株式会社　福岡支店	812-0018	福岡市博多区住吉三丁目1番1号 富士フイルム福岡ビル	0992-53-0091
朝日レントゲン工業株式会社　九州営業所	812-0042	福岡市博多区東比恵2丁目19番27号 静代ビル	092-251-7278
株式会社メディソンアコマ西日本販売	812-0065	福岡市東区二又瀬新町１３番１７号	092-621-0221
GEヘルスケアジャパン株式会社　鹿児島営業所	890-0062	鹿児島県鹿児島市与次郎２丁目４－３５ KSC鴨池ビル３F	099-255-0701
南九州電子サービス株式会社　鹿児島営業所	890-0806	宮崎市広島１丁目1番10号	099-253-7397
株式会社　舞研	891-0115	鹿児島市東開町4番94号	099-266-2501
日本メジフィジックス株式会社　鹿児島営業所	892-0842	鹿児島市東千石町2番1号 （芙蓉ビル３F）	099-805-2005
東芝メディカルシステムズ株式会社	892-0844	鹿児島県鹿児島市山之口町1番10号 （鹿児島中央ビルディング）	099-226-7792
第一三共株式会社　鹿児島営業所	892-0847	鹿児島市西千石町17-3 太陽生命鹿児島第二ビル３F	099-219-9171
株式会社ドクターネット	105-0013	東京都港区浜松町2丁目7番1号 第38荒井ビル７階	028-657-8200
株式会社　八郷医療器	890-0114	鹿児島市小松原一丁目29-5	099-268-0010

ANZAI 技術、生る、愛づる

呼吸同期システム
Respiratory Gating System

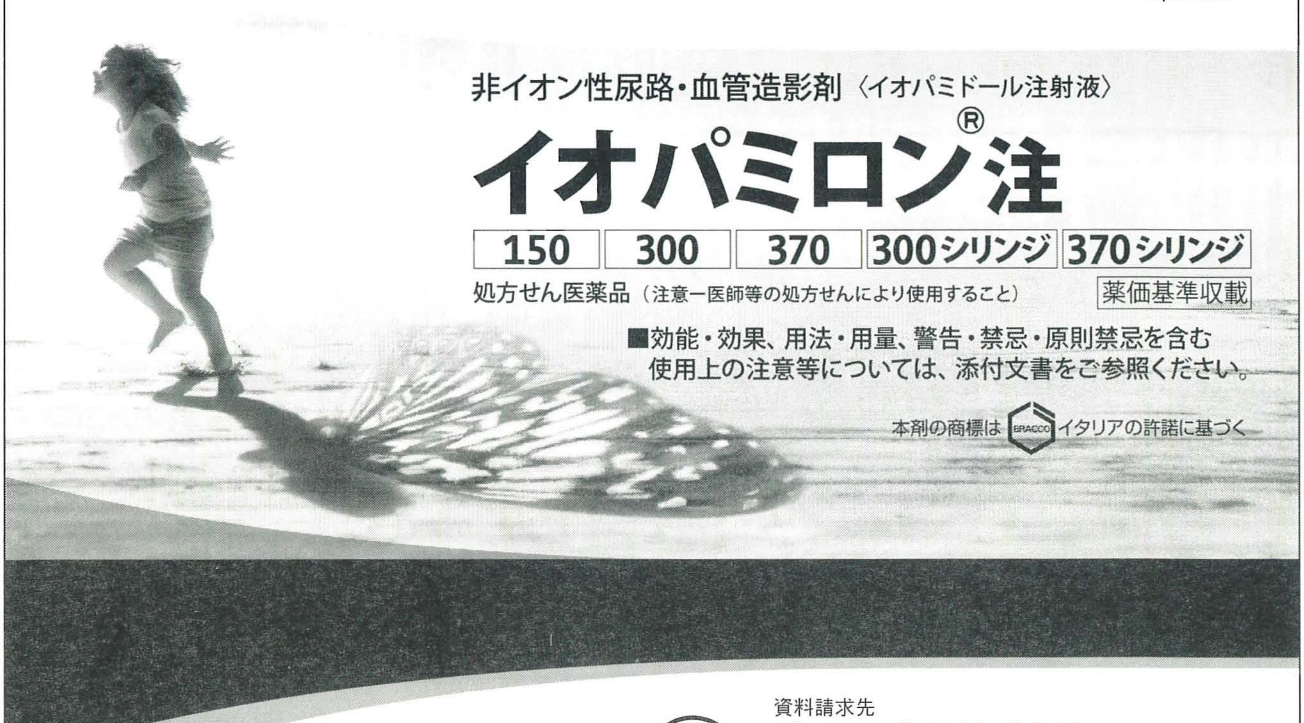
AZ-733V

本装置は呼吸センサーを介して呼吸時の体表の動きを捉え呼吸波形として表示します。得られた呼吸波形により呼吸位相に同期したゲート信号を出力します。高精度外部放射線治療時代において体幹部の呼吸性移動を考慮した治療が要求されています。本装置は外部放射線治療装置と組み合わせ自由呼吸下や呼吸停止下での呼吸同期照射を高次元で可能にします。また本装置とCT装置との組み合わせは治療計画における鮮明な4DCT画像を作成します。

Wave Deck and PC　Sensor Port　Load Cell

安西メディカル株式会社　〒141-0033 東京都品川区西品川3-6-25　Tel.03-3779-1611　Fax.03-3779-6606　www.anzai-med.co.jp

Iopamiron®
Iopamidol



非イオン性尿路・血管造影剤〈イオパミドール注射液〉

イオパミロン®注

150 | 300 | 370 | 300シリンジ | 370シリンジ

処方せん医薬品（注意ー医師等の処方せんにより使用すること）　薬価基準収載

■効能・効果、用法・用量、警告・禁忌・原則禁忌を含む使用上の注意等については、添付文書をご参照ください。

本剤の商標は BRACCO イタリアの許諾に基づく

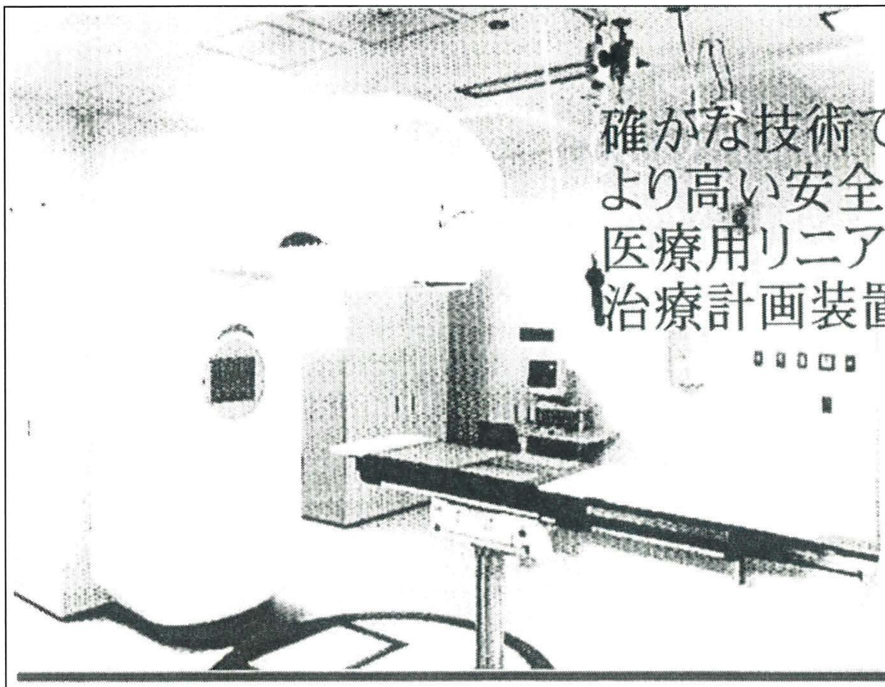
資料請求先
バイエル薬品株式会社
大阪市北区梅田2-4-9 〒530-0001
http://www.bayer.co.jp/byl

（2011年11月作成）　IOP-11-4012

おもいやりをたしかに

株式会社
八郷医療器
HACHIGOU MEDICAL INSTRUMENT

〒891−0114　鹿児島市小松原一丁目29−5
TEL099−268−0010
FAX099−267−7790



南九州電子サービス株式会社
http://www.mkds.jp

本　社　宮崎市広島1丁目1-10　℡0985-29-8371
鹿児島　鹿児島市鴨池2丁目15-2　℡099-253-7397

BUKEN

www.buken.co.jp

株式会社 舞 研

〒891-0115 鹿児島市東開町4-94 TEL 099-266-2501
FAX 099-266-2601

sound,lighting,visual,art

株式会社 熊本舞研 株式会社 宮崎舞研

nihon medi+physics

明日の幸せを願い、「診る」そして「治す」核医学。

私たちは、がんや心臓病、脳血管疾患および認知症などの早期発見に役立つSPECT・PET検査用放射性医薬品や、がん治療用の医療機器、疼痛緩和に有効な治療薬などの創出を通じ、これからも皆様の健康に貢献します。

〒136-0075 東京都江東区新砂3丁目4番10号 TEL(03)5634-7006(代)
http://www.nmp.co.jp/

日本メジフィジックス株式会社

2009年8月作成

GE Healthcare

世界で最も、高齢者の笑顔が輝いている国へ。

高齢者へのやさしさを追求し、
新たなソリューションを開発しています。

高齢社会を見つめた最適な医療の形が、いま求められています。
例えば、自宅と医療が密接につながった安心できる仕組みを。
年齢を重ねることによるリスクを、可能な限り低減できるテクノロジーを。
高齢者が、幸せで輝かしい人生を送れるような、
やさしい医療環境をサポートするために、
GEヘルスケアは皆さまとともに歩みつづけます。

Silver to Gold.

GEヘルスケア・ジャパン
カスタマー・コールセンター 0120-202-021 www.gehealthcare.co.jp

healthymagination

GE imagination at work

画像診断機器・販売サービス 株式会社ケンコー・トキナー メディカルイメージング部製品販売店
株式会社 メディソンアコマ 西日本販売
〒812-0065 福岡市東区二又瀬新町13番17号 TEL(092)621-0221 FAX(092)621-0225
http://www.md-acoma.com/ メール info@md-acoma.com

TOSHIBA
Leading Innovation >>>

AIDR 3D
integrated

Aquilion ONE™
ViSION EDITION

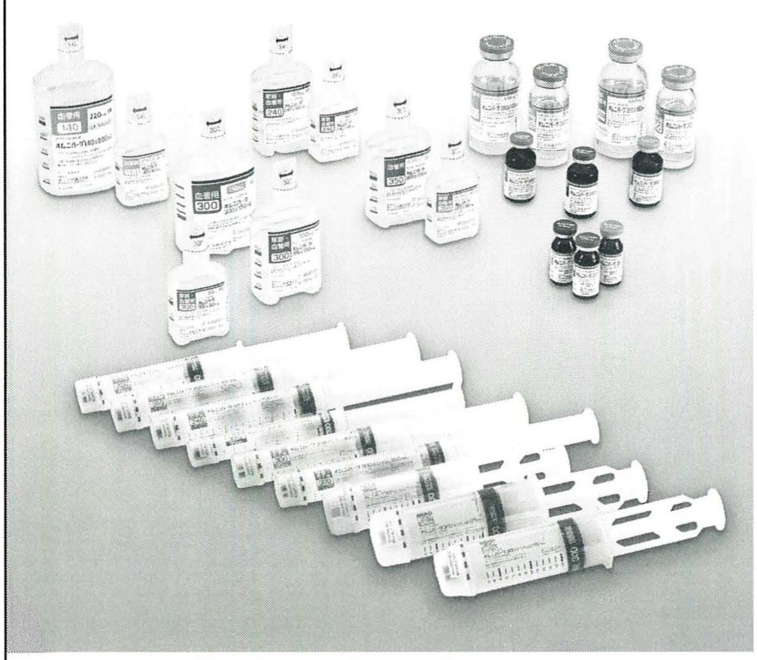
ADCTは、ついに第2世代へ。

Quantum Vi Detector
超高速0.275秒回転、780mmワイドボアガントリ
90kW新開発ジェネレータ、耐遠心力性能強化のX線管球
新画像再構成ユニット

Made for Life™

東芝メディカルシステムズ株式会社
本社 〒324-8550 栃木県大田原市下石上1385番地
http://www.toshiba-medical.co.jp

東芝スキャナ Aquilion ONE TSX-301C 認証番号：224ACBZX00004000



140注（血管用） 50mL、220mL
240注（尿路・血管用） 20mL、50mL、100mL
300注（尿路・血管用） 20mL、50mL、100mL
（血管用） 150mL
350注（尿路・血管用） 20mL、50mL
（血管用） 100mL
240注シリンジ（尿路・血管・CT用） 100mL
300注シリンジ（尿路・CT用） 50mL
（尿路・血管・CT用） 80mL、100mL
（CT用） 110mL、125mL、150mL
350注シリンジ（血管・CT用） 70mL、100mL
180注（脳槽・脊髄用） 10mL
240注（脳槽・脊髄用） 10mL
300注（脊髄用） 10mL

OMNIPAQUE

非イオン性造影剤
処方せん医薬品※ 薬価基準収載

オムニパーク®
OMNIPAQUE® イオヘキソール注射液

140注	180注	240注	300注	350注
50mL 220mL	10mL	10mL 20mL 50mL 100mL	10mL 20mL 50mL 100mL 150mL	20mL 50mL 100mL

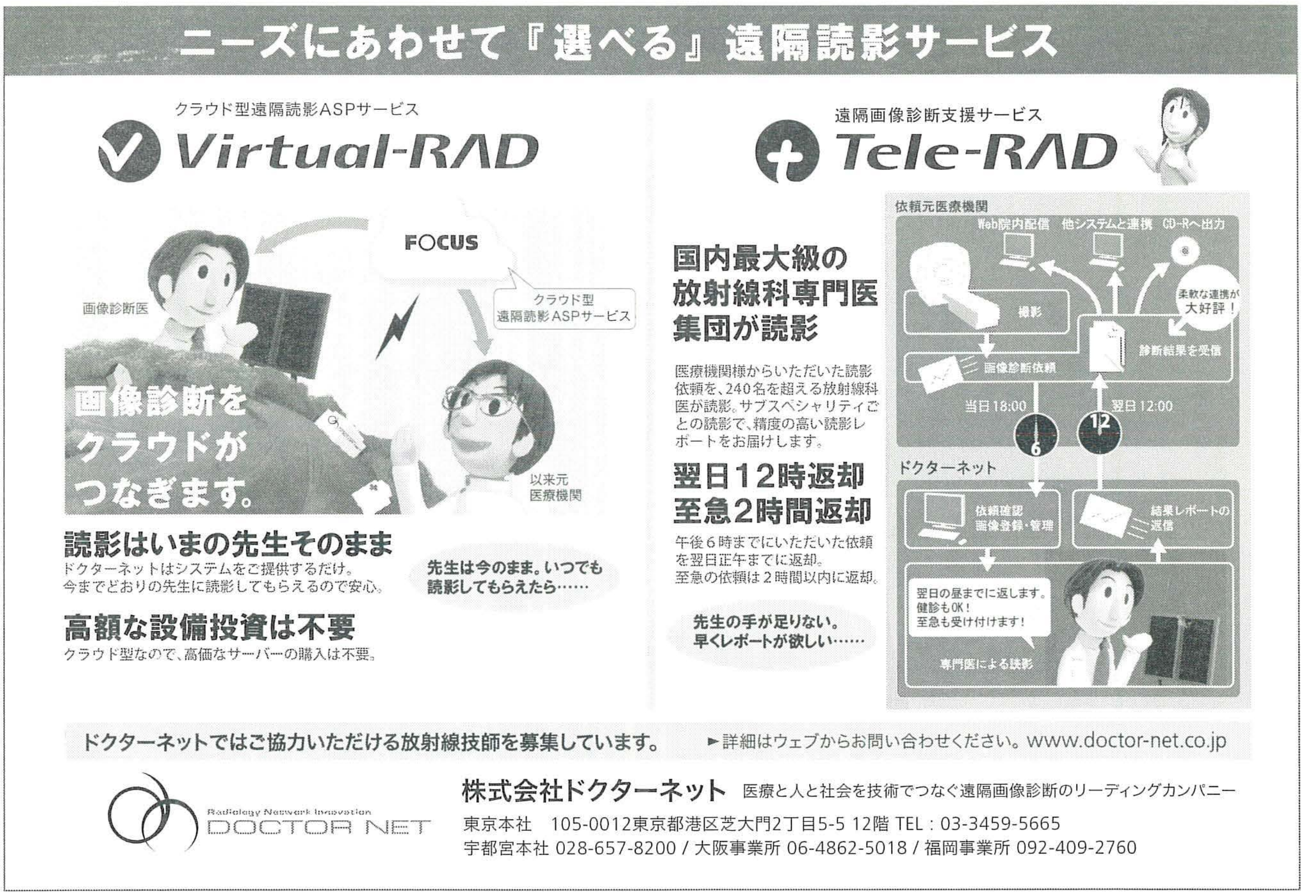
240注シリンジ	300注シリンジ	350注シリンジ
100mL	50mL 80mL 100mL 110mL 125mL 150mL	70mL 100mL

※注意ー医師等の処方せんにより使用すること

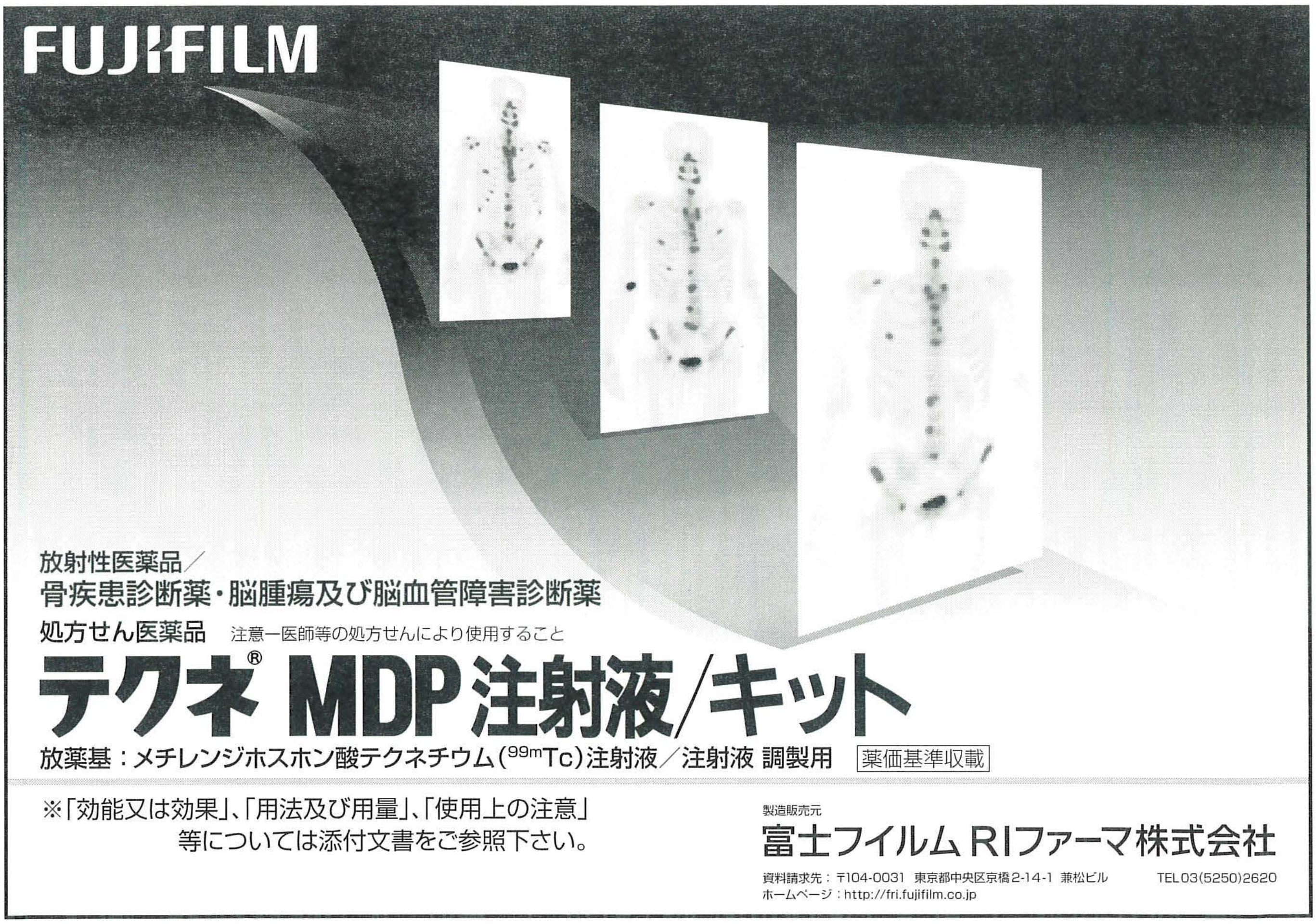
★効能・効果、用法・用量、警告、禁忌および使用上の注意等の
詳細につきましては、製品添付文書をご参照ください。

製造販売元（資料請求先）
Daiichi-Sankyo
第一三共株式会社
東京都中央区日本橋本町3-5-1

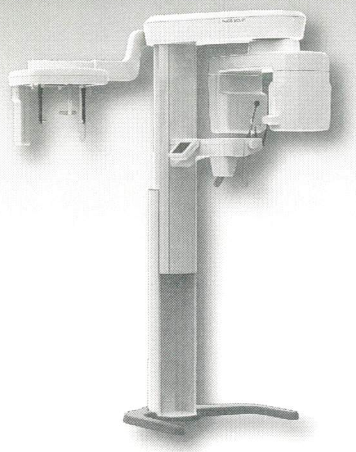
2012年7月作成



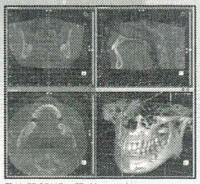
ニーズにあわせて『選べる』遠隔読影サービス
クラウド型遠隔読影ASPサービス
Virtual-RAD
FOCUS
クラウド型
遠隔読影ASPサービス
画像診断医
以来元
医療機関
画像診断を
クラウドが
つなぎます。
読影はいまの先生そのまま
ドクターネットはシステムをご提供するだけ。
今までどおりの先生に読影してもらえるので安心。
先生は今のまま。いつでも
読影してもらえたら……
高額な設備投資は不要
クラウド型なので、高価なサーバーの購入は不要。
遠隔画像診断支援サービス
Tele-RAD
国内最大級の
放射線科専門医
集団が読影
医療機関様からいただいた読影依頼を、240名を超える放射線科医が読影。サブスペシャリティごとの読影で、精度の高い読影レポートをお届けします。
翌日12時返却
至急2時間返却
午後6時までにいただいた依頼を翌日正午までに返却。
至急の依頼は2時間以内に返却。
先生の手が足りない。
早くレポートが欲しい……
依頼元医療機関
Web院内配信
他システムと連携
CD-Rへ出力
柔軟な連携が
大好評！
撮影
画像診断依頼
診断結果を受信
当日18:00
翌日12:00
ドクターネット
依頼確認
画像登録・管理
結果レポートの
返信
翌日の昼までに返します。
健診もOK！
至急も受け付けます！
専門医による読影
ドクターネットではご協力いただける放射線技師を募集しています。
►詳細はウェブからお問い合わせください。www.doctor-net.co.jp
Radiology Network Innovation
DOCTOR NET
株式会社ドクターネット　医療と人と社会を技術でつなぐ遠隔画像診断のリーディングカンパニー
東京本社　105-0012東京都港区芝大門2丁目5-5 12階 TEL：03-3459-5665
宇都宮本社 028-657-8200 / 大阪事業所 06-4862-5018 / 福岡事業所 092-409-2760



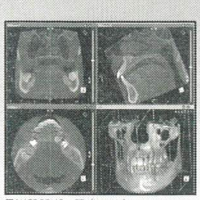
FUJIFILM
放射性医薬品／
骨疾患診断薬・脳腫瘍及び脳血管障害診断薬
処方せん医薬品　注意一医師等の処方せんにより使用すること
テクネ® MDP注射液/キット
放薬基：メチレンジホスホン酸テクネチウム(99mTc)注射液／注射液 調製用　薬価基準収載
※「効能又は効果」、「用法及び用量」、「使用上の注意」
等については添付文書をご参照下さい。
製造販売元
富士フイルム RIファーマ株式会社
資料請求先：〒104-0031 東京都中央区京橋2-14-1 兼松ビル　TEL03(5250)2620
ホームページ：http://fri.fujifilm.co.jp



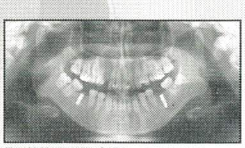
AUGE SOLIO
アーム型X線CT診断装置
認証番号：224AABZX00077000



■AUGE SOLIO　CT（A-mode）



■AUGE SOLIO　CT（I-mode）



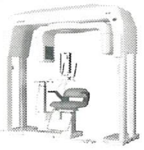
■AUGE SOLIO　FPD パノラマ

■AUGE SOLIO　CMOS セファロ

ニーズに合わせたMORE 3D SERIESのラインナップ

AUGE
アーム型X線CT診断装置
認証番号：220AABZX00276000

AZ3000CT
アーム型X線CT診断装置
認証番号：220AABZX00034A01



Alphard
アーム型X線CT診断装置
認証番号：218AABZX00034000

MORE 3D SERIES 撮影モード

	AUGE SOLIO	AUGE	AZ3000CT	Alphard
CT A-mode	●	●	●※	
CT I-mode	●	●	●	●
CT D-mode	●	●	●	●
CT P-mode				●
CT C-mode				●
パノラマ	●	●	●	
セファロ	●	●	●	レイサム
TMJ	●	●	●	
上顎洞	●	●		
手根骨	●	●		

※オプションです。

Asahi 私たちの「優しさ」は、進化のために Gentility, it is for evolution.

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

朝日レントゲン工業株式会社 URL：http://www.asahi-xray.co.jp　E-mail：sales@asahi-xray.co.jp

本社：〒601-8203　京都府京都市南区久世築山町376-3　TEL:075-921-4330　FAX:075-921-6675
※日本国内の各拠点の詳細につきましては、WEBサイトに掲載しております。

ISO 13485 医療機器品質マネジメントシステム認証取得
ISO 9001 品質マネジメントシステム認証取得
ISO 14001 環境マネジメントシステム認証取得

THE KAGOSHIMA ASSOCIATION OF RADIOLOGICAL TECHNOLOGISTS

(公益)鹿児島県診療放射線技師会